

水道事業概要

平成28年度



苫小牧のおいしい水「とまチョップ水」

(H27.6.29 販売開始)

苫小牧市上下水道部

● 市章 ・ 市旗



市章は、苫小牧をカタカナのトマコマイとし、「ト」と「マ」を周囲にとり、「コマ」は全体を通じて独楽（こま）を図案化し、「ト」の字を「イ」と読ませ、市名に通じさせています。（昭和24年8月22日制定）

● 市名の語源

以前、苫小牧川を流れる一帯を、当時の河川名であった「マコマイ」（アイヌ語で「山奥に入っていく川」）と呼んでいました。沼のあった旧樽前山神社付近一帯は、アイヌ語で沼の意味がある「ト」の字をつけて「ト・マコマイ（沼のマコマイ）」と呼ばれるようになり、今日の苫小牧となりました。

● 位置 ・ 面積

苫小牧市は北海道の南西部にあって、札幌市の南東約60km、東経141度36分34秒、北緯42度37分53秒に位置し、市域は東西39.9km、南北23.6kmで、面積は561.57km²です。

特定重要港湾苫小牧港や新千歳空港を擁し、鉄道幹線や国道、高速自動車道など陸路交通とのアクセスポイントとなっており、海と陸と空の重要な交通拠点です。

● 地勢

苫小牧市の市街地北西には、世界でも珍しい溶岩円頂丘のある「樽前山」と、カルデラ湖の「支笏湖」があり、この地域一帯は、「支笏洞爺国立公園」となっています。

また、南に太平洋を臨み、東には我が国初の野鳥の聖域「サンクチュアリ」やラムサール条約登録湿地に指定された「ウトナイ湖」などがある「勇払原野」が広がり、樽前山麓は伏流水による独特の湖沼群や多くの清流を形成しており、それを水源とする「おいしい水のまち」として知られています。

市の鳥
(白鳥)



市の木
(ナナカマド)



市の草の花
(ハナショウブ)



市の木の花
(ハスカップ)



市の貝
(ほっき貝)



平成10年、本市水道部（当時）の広報委員会によっておいしい水道水のロゴマークが制作されました。

イメージキャラクターとして水辺に住む“カワセミ”と“標語”を用いたものでカワセミは一般公募によって、“スイミー”と名付けられました。

目 次

I 事業概要

1	はじめに	1
2	事業沿革	3
3	給水区域図	6
4	事業認可の変遷	8
5	水道料金の変遷	9
6	上下水道部の組織	11
(1)	機構	11
(2)	分掌事務	11
7	広報活動	12
(1)	広報委員会	12
(2)	水道週間行事	14

II 施設現況

1	水道施設系統	15
2	施設能力	15
3	施設フロー図	16
4	施設概要図	18
(1)	高丘系施設	18
(2)	錦多峰系施設	22
(3)	植苗ポンプ場	26
(4)	グリーンヒルポンプ場	26
(5)	スプリングス高丘ポンプ場	26
(6)	配水コントロール施設	26
(7)	緊急災害用水道機材貯蔵庫	27
(8)	水道機材貯蔵施設	27
(9)	災害用備蓄機材	28
(10)	緊急貯水槽	28
(11)	導・送・配水管布設現況及び消火栓	29

III 業務状況

1	水量等一覧表（取水・配水・電力・薬品）	30
2	給水状況（給水人口・普及率・有収水量）	31
3	給水装置工事	32
(1)	検査手数料及び加入金実績	32
(2)	給水装置設置件数	32
4	漏水件数	33
(1)	配水管漏水件数	33
(2)	給水管漏水件数（公道内）	33
5	給水管凍結件数	34
6	水道メーター設置個数	35
(1)	器種別設置個数	35
(2)	口径別設置個数	35
7	営業状況	36
(1)	給水件数	36
(2)	調定状況	36
(3)	収納状況	36

IV 水源と水質状況

1	水道水源と保全の取組	37
(1)	水道水源	37
(2)	取水河川の形成	38
(3)	水源保全の取組	38
2	水源及び浄水の水質	39
3	水道水質基準	40

V 財務状況

1	予算（平成28年度）	41
(1)	収益的収支	41
(2)	資本的収支	41
2	決算状況	42
(1)	損益計算書	42
(2)	貸借対照表	43
(3)	資本的収支	45
3	給水原価及び供給単価	46

I 事業概要

- 1 はじめに
- 2 事業の沿革
- 3 給水区域図
- 4 事業認可の変遷
- 5 水道料金の変遷
- 6 上下水道部の組織
 - (1) 機構
 - (2) 分掌事務
- 7 広報活動
 - (1) 広報委員会
 - (2) 水道週間行事

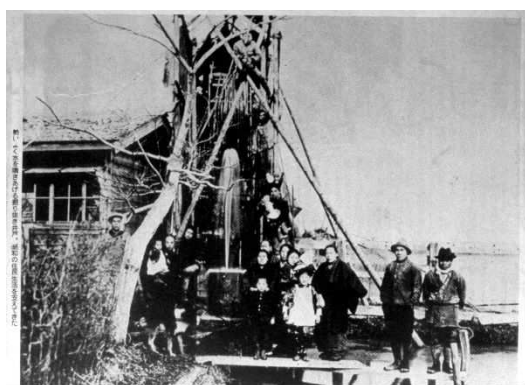
1 はじめに

「飲料水ハ概シテ良好ナラズ、故ニ村民移住当時ハ一時的胃腸障害ヲ来シ、下痢或ハ皮疹ヲ発生スル者多シ、適当ノ給水法ニヨリ水質ノ改良最モ必要ナリ」…と。井戸水を利用していた大正初期の苦小牧村の水事情により村会に打ち出された「火防用及び雑用水の水路設置計画」は、工期を含め正式決定されたものの資金不足から実行には至りませんでした。

後の昭和5年、新たに上水道計画として約9ヶ月を要し調査、まとめられた「苦小牧町上水道調査書」は、北海道帝国大学演習林地内（現北大研究林）を貫流する幌内川を水源としたB6版46ページにも及ぶものでした。他に「上水道工事一般図」と一般用「上水道調査概要」と合わせ、翌6年に発表されました。

この計画は、計画給水人口16,000人、計画取水量96,000立方尺（2,671m³）、総工事費29万円で、水道特別会計として経理することを原則とした財政計画が立てられ行政報告されたものの、第1次世界大戦後の不況と関東大震災による金融恐慌からくる財政難、そして大正期から急速に発達した「竹管による掘り抜き井戸」の流行により、さほど困らない水事情となったことから町もこれに甘んじ、ついに戦前においては上水道の実現を見ることはなかったのです。

しかし、この計画書は本格的かつ極めて優れていたことから、後の本市上水道計画への重要な資料として受け継がれることとなりました。



大正末期から昭和初期にかけて急速に発達した掘り抜き井戸の自噴水



昭和27年当時、鑄鉄管の運搬はほとんどが馬車

終戦を迎えた苦小牧町は、戦後の復興目覚ましく、昭和23年には市制が施行されるとともにいよいよ上水道布設の機運が高まり、翌24年12月、万難を排し上水道実現に向け市議会議員協議会に「上水道布設について」の協議案が提出されたのです。

議案書は勿論、先人の苦難によって作られた調査書を基に水源を幌内川に定め、計画給水人口28,100人、1日最大給水量8,100m³とした実施計画で、議会はこの計画に対し全員一致をもって“事業邁進”と決定したのです。

こうしてついに長年の懸案事項は結実し、翌25年1月、厚生大臣に提出した「上水道新設工事認可書」は同年8月に認可されるとともに、水利権と河川工作物新築についても許可され、いよいよ事業着工の運びとなりました。

そして、昭和27年5月、市内の一部（東は旭町から西は弥生町）に待望の水道水の供給が開始され、翌28年には創設事業が完工したのです。

以降、旧緑町地区の給水区域の拡張、さらに国庫補助による錦岡、沼ノ端、勇払、錦岡公営住宅団地の順に掘り抜き井戸の「簡易水道」を設置（昭和48年までに給水区域に包括し廃止）するなど、着実な進展をみせました。

その後、38年に開港することとなる工業港に苫小牧の将来を託していた市は、工業の発展と企業の誘致によって莫大な人口増を見込むこととなり、水道事業としても根本的な対策を講ずる必要に迫られ、水道事業はいよいよ拡張の時代へ入ることとなりました。

昭和37年、将来の水需要と給水区域の拡張のため新たに水源を勇払川に求め、計画給水人口139,000人、1日最大給水量44,500m³とした第1次拡張事業に着手し、昭和40年には幌内系の施設に加え高丘系の施設が完成しました。

これによって、これまで塩素滅菌のみで給水していた創設時の水道も、高丘浄水場の緩速ろ過池へと合流され、日量44,500m³の能力をもって供用開始されることとなりました。

さらに、昭和49年には港の拡充、企業の進出、苫小牧東部開発計画の推進などによる人口の増加、また下水道の普及と環境整備などに伴う水量増が予測されたことから計画給水人口206,000人、1日最大給水量80,500m³とし、水源を錦多峰川と定めた第2次拡張事業に着手しました。

この事業は、これまで高丘浄水場によって市内全域に供給していたものを、西部地区を賄うべく新たな浄水場築造を目的としたもので、将来における他の河川からの取水も考慮し、「急速ろ過方式」を採用しました。日量36,000m³の能力として計画した錦多峰浄水場は、昭和52年にその1/2を整備し供給を開始しており、その後の平成9年には全ての設備が完成しています。

こうして東西2つの浄水場の稼働に伴い、西から随時整備された口径600mm(13.5km)の配水幹線も昭和56年には高丘系の配水本管と接続され、両浄水場の「相互融通体制」が確立しました。

この間、活火山である樽前山を背後に控えていることから、高丘系では火山活動による河川表流水取水不能の事態に対応できるよう、非常用水源として昭和57年、58年に2箇所地下水取水施設を築造しました。「高丘地下水取水場」は、8,000m³/日の能力を持ち、表流水揚水施設である幌内ポンプ場に併設した地下水取水施設の取水能力は4,000m³/日で、合わせて12,000m³/日を有しております。

こうした中、昭和50年半ばのオイルショック、昭和60年前半からの円高不況などによって人口の伸びは鈍化し、平成に入っても景気の低迷により人口も水需要もさほど伸びない状況が続いたことから、これまで何度か目標年次、計画給水人口などの変更を行い、現在は平成8年に変更した計画給水人口182,000人、1日最大給水量80,500m³、目標年次を平成26年とし事業を進めています。

各事業分野においてコンピュータシステムの導入を積極的に進め事業の効率化を図る中、平成13年度には、コンビニエンスストアでの水道料金の支払いも可能となり、料金収納の向上が図られ、平成14年5月には上水道供給から50周年を迎えております。

現在は、平成19年度に策定された『苫小牧市水道ビジョン』に示された2つの基本理念である“持続可能な水道”、“災害に強い水道”を実現するため、老朽施設や老朽管の更新に加え、災害対策を充実させるべく、浄水場施設の耐震化及び緊急貯水槽設置等の事業を展開しています。このほか、水源保全の取組についても継続して行う計画であり、さらに安全でおいしい水道水の安定供給を目指し邁進しています。

2 事業の沿革

昭和23年	市制施行となる（人口33,131人）
24年	「上水道布設計画」市議会で可決・日本水道協会加入
25年	幌内川の水利権取得・創設事業認可及び事業着手
26年	「苫小牧市水道使用条例」制定
27年	市内一部に供給開始（5月）・「水道料金統制額」指定
29年	上水道4カ年継続事業完成・水道料金改定・錦岡簡易水道認可着手
30年	錦岡簡易水道給水開始・水道料金改定・沼ノ端簡易水道認可着手
31年	沼ノ端簡易水道給水開始・勇払簡易水道認可着手
32年	勇払簡易水道給水開始
34年	水道事業認可変更（創設第1回給水区域拡張）
35年	「水道事業給水条例」制定
36年	地方公営企業法適用・勇払簡易水道事業変更（水源変更） 「水道事業給水条例施工規則」制定
37年	第1次拡張事業認可及び事業着手・勇払川水利権取得、 「給水装置工事指定業者に関する規則」制定・指定業者8社を承認
38年	調定機による水道料金の電算化導入・船舶給水開始・水道部新設 沼ノ端簡易水道事業変更（水量の増）
39年	錦岡公営住宅団地簡易水道認可及び着手
40年	第1次拡張施設供用開始・錦岡公営住宅団地簡易水道給水開始
41年	水道料金改定・水道事業認可変更（1次第1回給水区域拡張）
42年	給水装置工事直営施工廃止・メータ検針の隔月への変更
43年	水道事業認可変更（1次第2回給水区域拡張）・沼ノ端簡易水道廃止 水道料金改定・十勝沖地震による市内全域断水（配水管折損）
45年	水道事業認可変更（1次第3回給水区域拡張及び第4回給水区域拡張） 錦岡及び公営住宅団地簡易水道廃止
46年	水道料金徴収の隔月への変更および自主納付制から委託集金制へ切替 水道料金口座振替方式採用
47年	指定店修繕工事担当区域設定・リコム8計算機導入（料金計算調定） 無線機導入（緊急体制強化）
48年	勇払簡易水道廃止・給水装置工事完成図作成の施工業者移行
49年	第2次拡張事業認可及び事業着手・錦多峰川水利権取得
50年	高層住宅集中検針方式採用
51年	第1次拡張事業完了・水道料金改定
52年	配水管管理台帳のマイクロフィルム化・修繕工事全面指定店に移行 第2次拡張施設（錦多峰浄水場供用開始による通水、8月） 配水本管800mm破損事故による36,000戸断水 苫小牧水道工事業協同組合設立（26社）
53年	水道賠償保険加入・「異常水量認定規定」設定
54年	臨時計量栓の前納制採用・分水栓取付施工の指定業者への移行
55年	水道利用加入金制度導入・水道事業認可変更（2次水量増）
56年	水道料金調定及び収納消込業務電算化 高丘、錦多峰配水本管連通による相互融通体制確立（通水）
57年	水道料金改定・樽前営農用水（利用組合）供給開始
58年	苫小牧市水道30年史発刊
59年	高丘配水池増設（3,4号）
60年	高丘地下水取水場完成（8,000m ³ /日）・幌内地下取水場完成（4,000m ³ /日）

厚生省「おいしい水研究会」において、おいしい水道水の都市として全国人口10万人以上の198都市から32都市の1市に選出される。

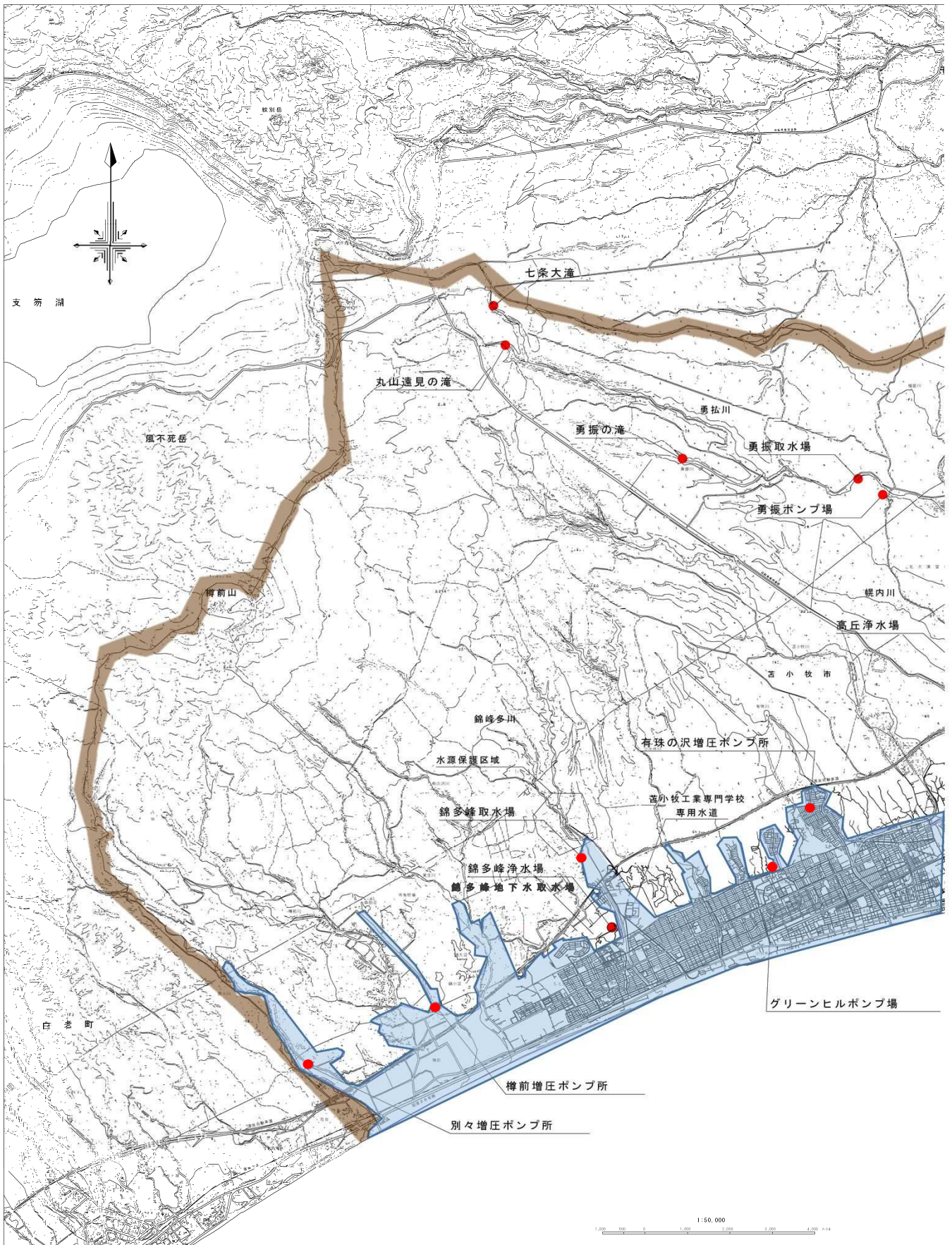
(北海道では本市と帯広市)

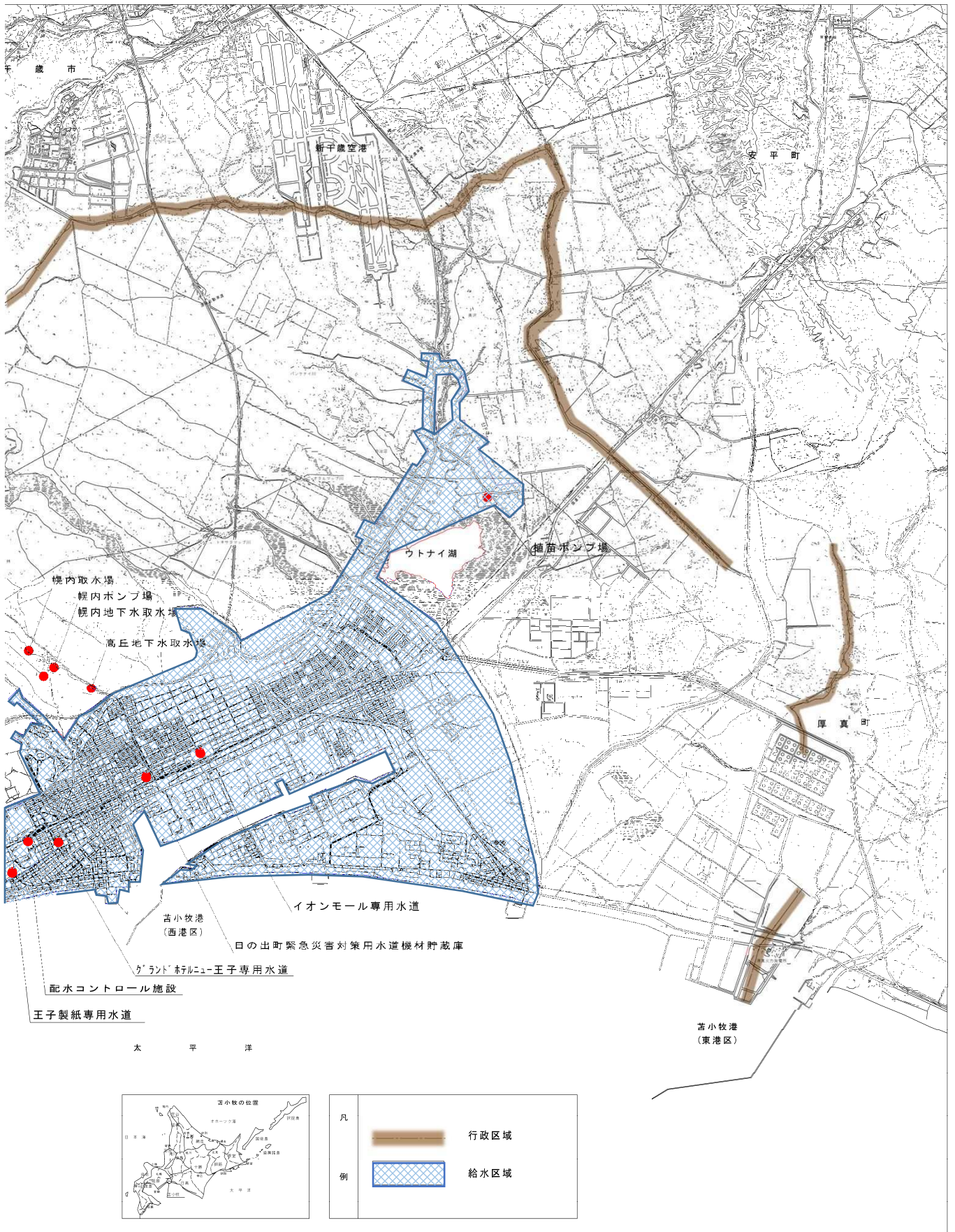
- 63年 検針業務一部民間委託(苫小牧管工事業協同組合)
給水装置工事設計施工要綱の改正・3階住宅直結給水の承認
- 平成元年 年末年始当番の待機業務委託
錦多峰浄水場、次亜塩素酸ソーダに変更(以前は液化塩素)
- 2年 給排水装置工事を自由価格に・同工事設計審査等管理費等定額制に移行
遠隔メータ受、発信部の継続使用開始・祝日当番の待機業務委託
浄水場勤務体制の移行(4直3交替から4直2交替)
- 3年 錦多峰第2配水池増設・量水器管理業務にオフィスコンピュータ導入
日本水道協会第60回総会本市開催・新型消火栓(スワン型)試作設置
- 4年 「苫小牧市給排水装置工事の指定業者に関する規則」の一部改正
高丘浄水場、次亜塩素酸ソーダ注入に変更(以前は液化塩素)
起債事業において第2次拡張事業に加え新たに改良事業を起こす
- 5年 錦多峰浄水場急速ろ過設備増設(9,000m³増で処理能力27,000m³/日となる)
3階建築物の直結給水方式実施
- 6年 給排水装置台帳16ミリフィルムによる自動検索システム導入
水道料金改定・工事発注に係る配管資材の請負化実施(前支給材)
上下水道料金業務にオンラインコンピュータシステム導入
ハンデーターミナルによる検針実施
- 7年 管工事積算要領作成・配水管設計指針及び工事仕様書の一部改正
開発行為指導要綱の一部改正・阪神大震災復旧工事職員派遣
有珠の沢増圧ポンプ所設置
- 8年 水道事業認可変更(2拡給水区域拡張・人口・水量)
財務会計業務にオフィスコンピュータ導入
錦多峰取水場上流部の産業廃棄物不法投棄による異臭事故発生
- 9年 錦多峰浄水場急速ろ過設備増設(9,000m³増で処理能力36,000m³/日)完了
「苫小牧市水道水源の保護に関する指導要綱」施行
柳町に緊急災害用水道機材庫設置
- 10年 高丘地下水取水場(非常用水源地)に簡易滅菌装置設置
水道法一部改正による「苫小牧市水道事業給水条例」の一部改正
(条例による指定業者制度を廃止し、法による給水装置工事業者の指定)
給水装置工事設計審査等管理費を審査及び検査手数料として条例化
配水管管理台帳のコンピュータ化
錦多峰浄水場内に緊急災害用水道機材庫設置
- 11年 水道法改正による給水装置工事設計施工指針の改正
配水管布設工事設計積算システム導入
植苗配水中継ポンプ場稼働
丸山国有林の一部(約4.2ha)を「丸山水源の森」として購入
- 12年 有珠山噴火(3月31日)による支援(給水タンク、ポリ容器など)
第51回全国水道研究発表会本市で開催
飲食店街を中心に「おいしい水のイメージPR」展開
別々浜地区(世帯数5戸)の白老町との分水契約による給水開始
- 13年 コンビニエンスストアでの水道料金支払い開始(10月1日)

- 14年 検針表など点字によるお知らせを開始（14年4月1日）
通水50周年を（下水道事業50年）迎え、上下水道による50周年展を開催
樽前地区増圧ポンプ所設置
- 15年 水道部ホームページ「とまこまいの水道」の開設（12月26日）
- 16年 水道料金徴収の委託集金制の廃止（16年3月31日）
中央第5地区（日の出公園）緊急貯水槽設置
- 17年 王子町に配水コントロール施設完成（17年3月）
樽前ポンプ場使用停止（平成18年度から倉庫として再利用）
- 18年 別々増圧ポンプ稼働
日の出公園緊急災害対策用水道機材貯蔵庫設置
配給水管理システム更新
高丘浄水場2号配水池改良
- 19年 別々浜地区（世帯数7戸）の給水開始（従前は白老町より給水）
水道部と下水道部が統合し上下水道部となる（10月1日）
苫小牧市水道ビジョン策定
- 20年 錦多峰浄水場中央監視設備更新
王子町配水コントロール施設遠隔設備設置
- 21年 水道ビジョンに基づき、緊急貯水槽事業及び老朽管更新事業を
国庫補助事業により開始
錦多峰浄水場ポンプ動力操作盤設備更新
東部第6地区（沼ノ端小学校）緊急貯水槽設置
- 22年 高丘浄水場7号緩速ろ過池増設
勇振取水場監視カメラ設置
西部第4地区（泉野小学校）緊急貯水槽設置
- 23年 高丘浄水場4号緩速ろ過池改良
錦多峰浄水場非常用発電機更新
錦多峰取水場監視カメラ設置
水道料金改定（家事用基本水量制の廃止）
白老町と協定書締結「災害時における樽前地区制水弁操作に関する協定書」
西部第7地区（豊川小学校）緊急貯水槽設置
東部第5地区（勇払中学校）緊急貯水槽設置
- 24年 錦多峰浄水場耐震補強実施
東部第4地区（ウトナイ小学校）緊急貯水槽設置
- 25年 高丘浄水場5号緩速ろ過池改良
高丘浄水場に太陽光発電設備設置
西部第3地区（澄川小学校）緊急貯水槽設置
錦多峰浄水場第3配水池築造
水道事業業務継続計画策定（25年12月）
- 26年 錦多峰浄水場第3配水池供用開始（26年3月）
苫小牧市水安全計画策定（26年3月）
東部第2地区（拓勇小学校）緊急貯水槽設置
高丘浄水場6号緩速ろ過池改良
- 27年 上下水道部業務継続計画策定（27年2月）
「とまチョップ水」販売
水道料金改定（業務用基本水量制の廃止）
中央第3地区（若草小学校）緊急貯水槽設置
錦多峰浄水場地下水取水場築造

平成28年3月末現在

3 給水区域図





4 事業認可の変遷

区 分	許可年月日	目標年次	計画給水量		計画給水人口(人)	備 考
			1人1日最大(ℓ)	1日最大(m ³)		
創 設	昭和25年 8月12日	昭和34年	225	8,100	28,100	1日最大給水量には、1,180m ³ の工業用水含む
第 1 回 変 更	〃 34年 3月27日	昭和41年	230	〃	35,000	給水区域の拡張
第 1 次 拡張事業	〃 37年 3月31日	昭和45年	320	44,500	139,000	給水量の増加及び区域の拡張
第 1 回 変 更	〃 41年12月28日	昭和50年	〃	〃	〃	給水区域の拡張
第 2 回 変 更	〃 43年 3月 1日	〃	〃	〃	〃	簡易水道(沼ノ端)の統合
第 3 回 変 更	〃 45年 3月31日	〃	〃	〃	〃	簡易水道(錦岡)の統合
第 4 回 変 更	〃 45年12月22日	〃	〃	〃	〃	給水区域の拡張
第 2 次 拡張事業	〃 49年 3月20日	昭和56年	390	80,500	206,000	給水量の増加及び区域の拡張・簡易水道(勇払)の統合
第 1 回 変 更	〃 55年 8月23日	平成 4年	400	92,500	231,000	給水量の増加
—	—	平成 9年	〃	〃	〃	人口増鈍化による目標年次の変更(昭和59年5月1日)
第 2 回 変 更	平成 8年 3月29日	平成16年	442	80,500	182,000	計画給水量の変更と給水区域の拡張
—	—	平成26年	〃	〃	〃	人口増鈍化による目標年次の変更(平成17年6月9日)
—	—	平成36年	〃	〃	〃	目標年次10年延長

5 水道料金の変遷

料金変遷 ① 1か月につき

(金額単位:円)

種別	用途	昭和26年12月				昭和29年4月		昭和30年4月		昭和41年8月		昭和43年4月					昭和51年4月						
		基本基準	基本	超過		基本	超過	基本	超過	基本	超過	用途	基本基準	基本	超過		基本基準	基本	超過				
			金額	超過基準	金額									金額	金額	金額			金額	金額	金額	金額	超過基準
専用	家事用	1戸5人まで	130	1人増す毎	30	190	30	260	40	340	50	家事用	4人まで	350	1人増す毎	90	4人まで	570	1人増す毎	135			
		支栓1箇所につき	40			50		60		80			同左	90			同左	170					
		浴槽1個につき	40			50		60		80			同左	90			同左	250					
		牛/馬1頭につき	50			50		60		80			同左	90			—						
	計量	家事用	10㎡まで		1㎡につき				260	26	340	34	家事用	8㎡まで	350	1㎡につき	9~20㎡	45	8㎡まで	400	1㎡につき	9~20㎡	70
		業務用	20㎡まで		1㎡につき					820	40					21㎡以上	55				21㎡以上	80	
		営業用	20㎡まで	300		14	420	21	580	28	業務用に統合		業務用	20㎡まで	1,000	1㎡につき	55	10㎡まで	1,100	1㎡につき	11~20㎡	115	
		工業用	20㎡まで	280		14	390	20	520	26												21㎡以上	120
		官公署団体用	20㎡まで	280		14	390	20	520	26					浴場用	100㎡まで	2,500	1㎡につき	26	100㎡まで	2,500	101㎡以上	26
		栓	観賞臨時用	10㎡まで	700		70	700	70	700	70	950	95	臨時用	10㎡まで	1,100	1㎡につき	110	10㎡まで	2,000	11㎡以上	200	
鉄道給水用	100㎡まで		800		8	1,100	11	1,500	15	業務用に統合		船舶	100㎡まで	2,500	1㎡につき	26	100㎡まで	2,500	101㎡以上	26			
船舶市営給水用	1㎡まで		42	時間外	70	42	70	42	70			35	35	船舶給水	1㎡まで	45	1㎡につき	45	1㎡まで	120	1㎡につき	120	
共用栓	家事用	5人まで	80	1人増す毎	15	110	15	150	20	計量	8㎡	1㎡	8㎡まで	300			40	定額	1戸	につき	450	—	—
		浴槽1個につき	20			20		30			195	25											
	営業用	5人まで	120	1人増す毎	20	170	20	230	30	栓	15㎡	1㎡	15㎡まで	550			45	栓	1戸	につき	1,100	—	—
		浴槽1個につき	30			30		40			355	30											
メータ使用料金	口径	13 mm			30		30		30					30					300				
		20 mm			40		40		40					40					400				
		25 mm			50		50		50					50					500				
		40 mm			150		150		150					150					1,500				
		50 mm			250		250		250					250					2,500				
		75 mm			370		370		370					370					3,700				
		100 mm			500		500		500					500					5,000				
		150 mm																	7,500				
200 mm																	10,000						

料金変遷 ② 1か月につき

(金額単位:円)

種別	用途	昭和57年4月					平成6年4月			平成23年10月					平成27年10月														
		基本基準 メーター口径(mm)		基本料金	超過料金(1㎡につき)		基本料金	超過料金(1㎡につき)		基本基準 メーター口径(mm)		基本料金	超過料金(1㎡につき)		基本基準 メーター口径(mm)		基本料金	超過料金(1㎡につき)											
		使用水量	金額	使用水量	金額	使用水量		金額	使用水量	金額	使用水量		金額	使用水量	金額	使用水量		金額											
専 用 栓	定額栓	家事用	1戸につき		950				1,100																				
	計	家事用	8㎡まで	13	900	8㎡を超え	95	1,050	8㎡を超え	《廃止》	25以下	13	890	8㎡まで	20	25以下	13	890	8㎡を超え	115									
				20	1,030			20				20																	
				25	1,160	20㎡まで		1,370	20㎡まで			115	25	20㎡まで			115												
				40	2,500	20㎡を超え		3,000	20㎡を超え			2,840	20㎡まで	40以上			40	2,840	20㎡を超え		40以上	40	2,840	20㎡まで	40	115			
				50	3,900			4,750				50以下		50			50以下				50								
				75	5,600	100㎡まで		6,900	100㎡まで			140	75以上	75			6,740	75以上	75		6,740	20㎡を超え	75	6,740	20㎡を超え	140			
				100	7,400	100㎡を 超えるもの		9,200	100㎡を 超えるもの			148	100以下	100			13,640	100以下	100		13,640	100㎡まで	100	13,640	100以下	100	100㎡まで	140	
				150	11,000			13,800				150以上	150	150以上				150	13,640			150以上	150		13,640	100㎡を 超えるもの	150	13,640	100㎡を 超えるもの
	150超	市長が別に 定める額	超えるもの	120	市長が別に 定める額	超えるもの	148	150超	150超	13,640	150超	13,640	100㎡を 超えるもの	150超	13,640	100㎡を 超えるもの	148												
	量 栓	業務用	10㎡まで	13	1,800	10㎡を超え	150	2,110	10㎡を超え	10㎡まで	13	2,110	10㎡を超え	178	10㎡まで	13	1,810	10㎡を超え	178										
				20	1,940			20㎡まで				2,290					20㎡まで			178	20	2,290	20㎡まで	178					
				25	2,100	20㎡を超え		2,500	20㎡を超え			192	25				2,500	20㎡を超え		25	2,500	20㎡を超え	25	3,900	20㎡を超え	25	3,900	20㎡まで	178
				40	3,450			4,200				40	4,200				40			3,900	40		3,900						
				50	4,800	100㎡まで		5,900	100㎡まで			192	50				5,900	100㎡まで		50	5,900	100㎡まで	50	7,800	20㎡を超え	50	7,800	20㎡を超え	192
				75	6,500			8,100				75	8,100				75			7,800	75		7,800						
				100	8,400	100㎡を 超えるもの		10,600	100㎡を 超えるもの			204	100				10,600	100㎡を 超えるもの		100	10,600	100㎡を 超えるもの	100	14,800	100㎡を 超えるもの	100	14,800	100㎡まで	192
				150	11,900			15,100				150	15,100				150			14,800	150		14,800						
				200	15,500	19,800		200	19,800			200	14,800				200	14,800											
				200超	市長が別に 定める額	超えるもの		170	市長が別に 定める額			超えるもの	204				200超	市長が別に 定める額		超えるもの	204	200超	市長が別に 定める額	超えるもの	204	200超	市長が別に 定める額	超えるもの	204
浴場用	100㎡まで	25以下	4,000	100㎡を	40	4,700	100㎡を	100㎡まで	25以下	4,700	100㎡を	48	100㎡まで	25以下	4,700	100㎡を	48												
		40以上	5,400	超えるもの		6,400	超えるもの		48	40以上	6,400			超えるもの	48														
臨時用	10㎡まで	25以下	3,300	10㎡を	300	4,000	10㎡を	10㎡まで	25以下	4,000	10㎡を	360	10㎡まで	25以下	4,000	10㎡を	360												
		40以上	4,700	超えるもの		5,800	超えるもの		360	40以上	5,800			超えるもの	360														
共用栓	家事用	1戸につき		550		650			《廃止》					《廃止》															
私設 消火栓	演習用	1㎡につき		150		180			1㎡につき		180			1㎡につき		180													

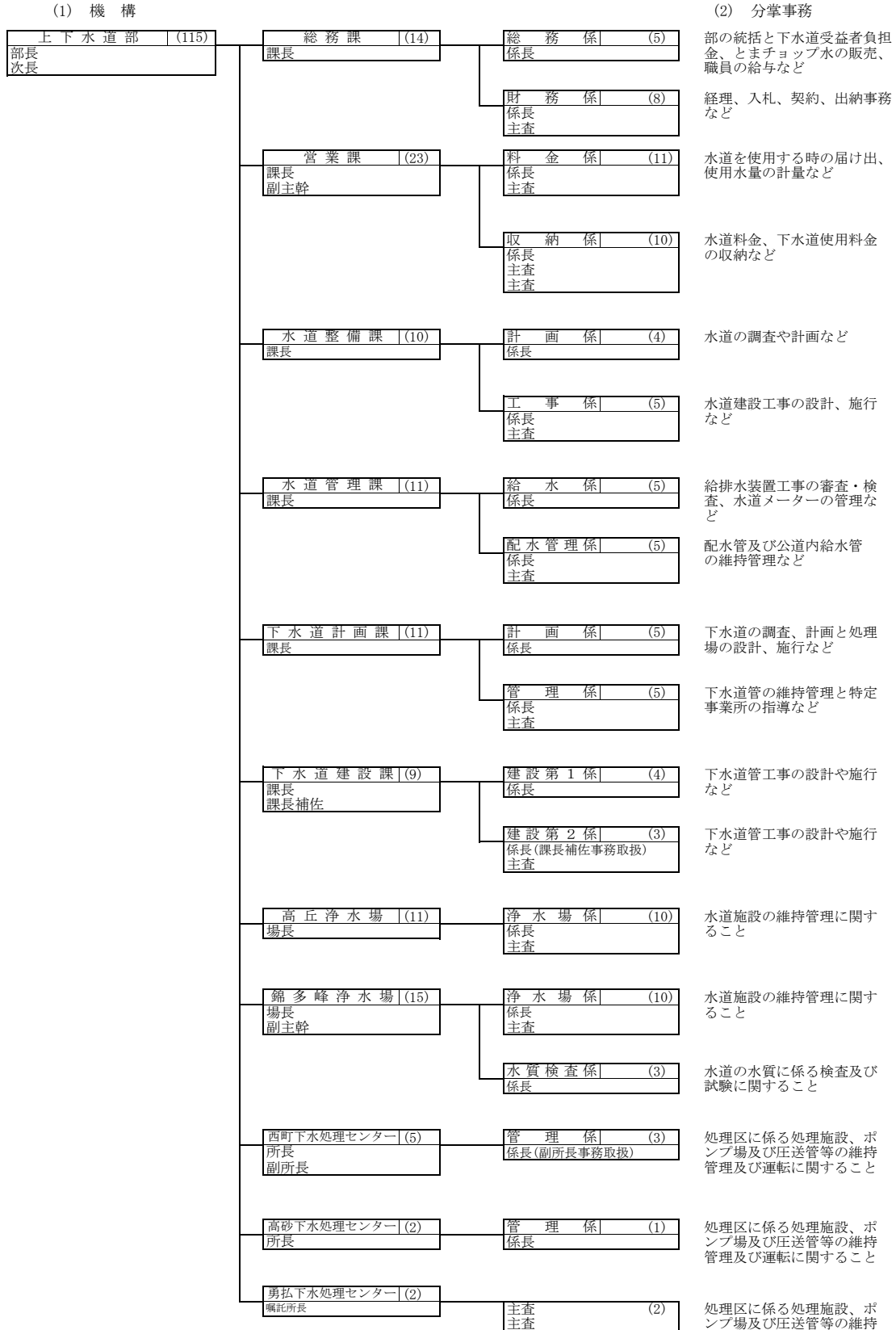
水道利用加入金

昭和55年4月から
(金額単位:円)

メーター口径(mm)	加入金額
13	36,000
20	100,000
25	190,000
40	740,000
50	1,300,000
75	3,600,000
75を超えるもの	別に定める額

6 上下水道部の組織

(平成28年4月1日現在)



※ () 内は職員数(再任用職員・囑託職員は含まない。)

7 広報活動

今日の社会情勢の中では、市民生活に必要な水道水を供給する水道事業者としても、多様化する市民ニーズに対応するためには、広く市民の声を聞いてどのように対処すべきかを判断することが重要となっています。また、安全な水づくりを目指し大切な水源を未来永劫に守り育てていくといった水道事業者の基本的な使命や責務も、今や事業者だけでは果たすことが難しくなっており、市民の方々の協力が必要となっています。

そのため、事業者と利用者というつながりの中で、市民生活における水道事業の役割と重要性や、事業の経営状況などを日常的に広く知って頂き、水道事業の現状と今後の運営について、より深い理解と協力を頂くことが不可欠となっており、広報公聴活動がより重要なものとなっています。

(1) 広報委員会

こうした情勢の中で広報公聴活動の一層の充実を図るために、平成6年4月には「広報公聴に関する検討委員会」を発足させ広報事業の今後の展開について検討し、翌平成7年には「広報紙班」「パンフレット班」「C I化班」の3班からなる「広報委員会」を設立し、それぞれの班を中心とした広報活動を開始しました。

その後、平成15年には全庁におけるホームページ作成にあたり「ホームページ班」も編成されましたが、各班の活動内容を見直す中で、平成18年からは各班の活動を一つに統合し広報活動に専念する「広報委員会」として活動を行っています。

ア 広報紙の発行

水道事業の果たしている役割と重要性や、事業の経営状況などを積極的にPRし事業者と利用者の結びつきを深め、事業に対する利用者の理解と協力を得ることを目的として、水道利用者（市民）と事業者（市）の橋渡しをする媒体として、水道事業独自の広報紙「水だより」の発行を行っています。

この「水だより」は、平成7年11月に第1号を創刊して以来、平成16年度までは年2回（5月、11月）、平成17年度からは年1回（12月）発行し、平成27年度には第30号を発行しました。



イ ポスター等の作成

企業の役割と重要性や事業の経営状況などを、利用者に日常的に広く知って頂くには「事業が何をしているのか、どのような社会的役割を果たしているのか」を対外的に表現する事が必要不可欠であり、このとき企業の持つ特徴や理念を体系的に整理し、簡潔に表す方法をコーポレートアイデンティティ (Corporate Identity) といい、これを広めるために、象徴や記号を効果的に利用する手法が多く用いられています。

そのため平成9年度に水道事業に対して市民が親近感をもって接して頂くことを目的として、川、湖、池などの水辺に生息する「カワセミ」をデザイン化し、市民公募し

た愛称「スイミー」と名付けたイメージキャラクターを作成し、これを公用車両のステッカーや専用封筒・名刺の台紙、そしてポスターなどの市民と接する場に広くロゴマークとして活用しています。さらには平成13年度に水源から利用者へ供給されるまでの取水、浄水、配水などの処理過程と各施設を紹介したパンフレットの作成をしました。



イメージキャラクター「スイミー」



わが苦小牧^{よきこまき}においしい水道水あり



ウ 「とまチョップ水」の販売等

平成27年に苦小牧のおいしい水道水をPRするため、水道水から塩素を取り除き、加熱滅菌した水を詰めたボトルドウォーター「とまチョップ水」を当初3万本作成し、協賛事業者を募るとともに、市内4カ所で販売を開始しました。その後、好評により追加作成し、平成28年度は販売箇所を30カ所あまりに拡大してより多くの方の手に取っていただけるようになりました。

苦小牧市水道水は1985年に旧厚生省の諮問機関「おいしい水研究会」から「水道水のおいしい都市」に選ばれており、「とまチョップ水」を通じ苦小牧市水道水のおいしさを内外に発信しています。



北海道日本ハムファイターズ
2016年苦小牧市応援大使入りポスター



エ ホームページ・フェイスブックによる情報の発信

情報に対する市民のニーズは、情報化社会が大きく進展していく中で多様化してきており、それに対応するため苫小牧市においても市内LANが整備されたことを機会として、平成15年12月に水道部独自のホームページを開設しました。

その後、平成19年10月に水道部と下水道部が統合されたため、新たに上下水道部のホームページとして開設し、水道事業及び下水道事業の歴史や各施設の概要、指定業者、手続き関係などの最新データを提供し続けている他に、水道の使用開始や中止の届出も行えるようにしています。

平成25年2月より苫小牧市公式ホームページに統合され、カテゴリ別に参照できるようになり、利便性が向上しました。

また、苫小牧市公式フェイスブックでも随時、情報を発信しています。

(2) 水道週間行事

毎年6月1日～7日までの1週間は全国水道週間として、全国各地の水道事業者でいろいろな催し物が行われており、本市でも一般家庭の“給水装置無料修理”などの実施や、水と自然にちなんだ“講演会や映画上映”、さらには文化公園での水上ステージにおける“コンサート”や商業施設での“暮らしの水道展”などを開催してきました。

平成28年度で第58回を迎えたこの行事も、現在では水道事業への理解はもちろんのこと、安全でおいしい水を育んでいる自然の大切さや、多くの施設を経て作られる水道水について、より広く市民の皆様理解していただくことを目的とした“施設見学会”や“浄水場説明会”などの行事が主体となり、水源の源流部の様子や水道水が作られる仕組みを知って頂くために、毎年多くの市民の皆様の参加を頂いています。

また、平成28年度は平成23年3月に起きた東日本大震災や今年4月の熊本地震などいつ起きるかわからない災害による断水への対策として、日の出公園にて災害給水体験もしていただきました。

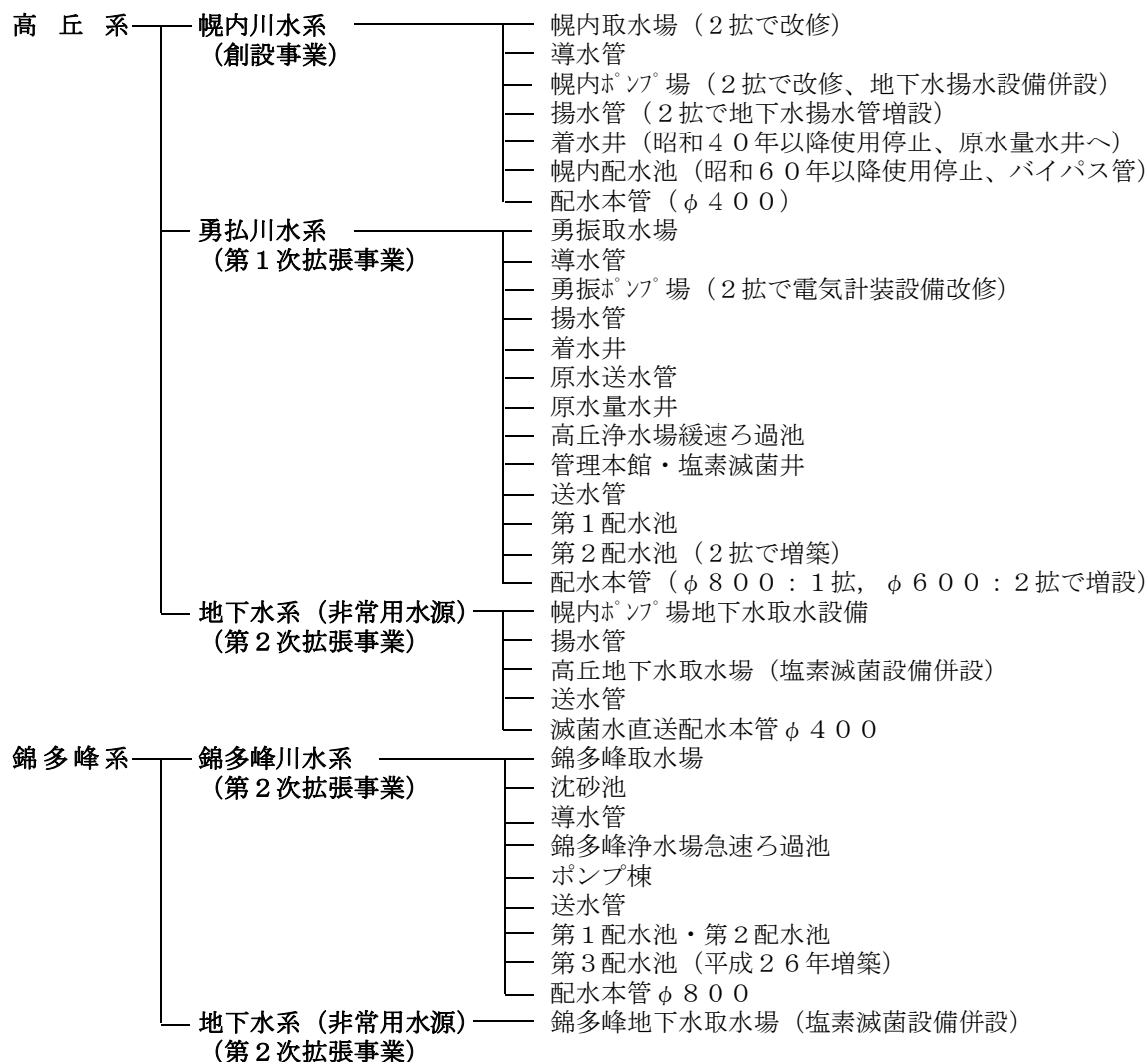


こうした行事は「水道週間事務局会議」で協議し、各課から選出された「水道週間従事者」によって準備が行われており、広報活動の重要な施策と位置づけられています。

Ⅱ 施設現況

- 1 水道施設系統
- 2 施設能力
- 3 施設フロー図
- 4 施設概要図
 - (1) 高丘系施設
 - (2) 錦多峰系施設
 - (3) 植苗配水中継ポンプ場
 - (4) グリーンヒルポンプ場
 - (5) スプリングス高丘ポンプ場
 - (6) 配水コントロール施設
 - (7) 緊急災害用水道機材貯蔵庫
 - (8) 水道機材貯蔵施設
 - (9) 災害用備蓄機材
 - (10) 緊急貯水槽
 - (11) 導・送・配水管布設現況及び消火栓

1 水道施設系統



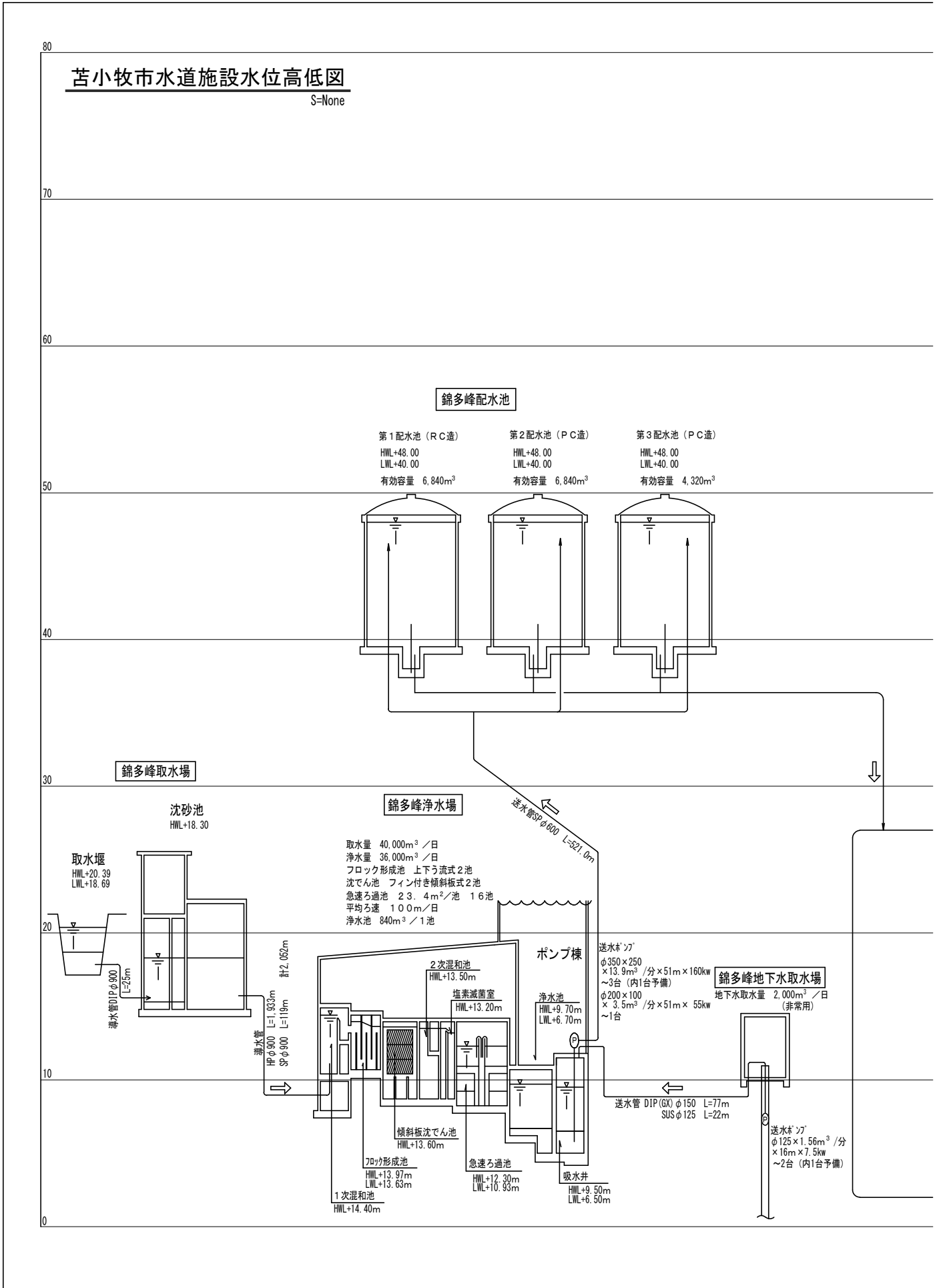
※高丘系配水区域及び錦多峰系配水区域は配水コントロール施設により連通しており配水量の調整を行っている。

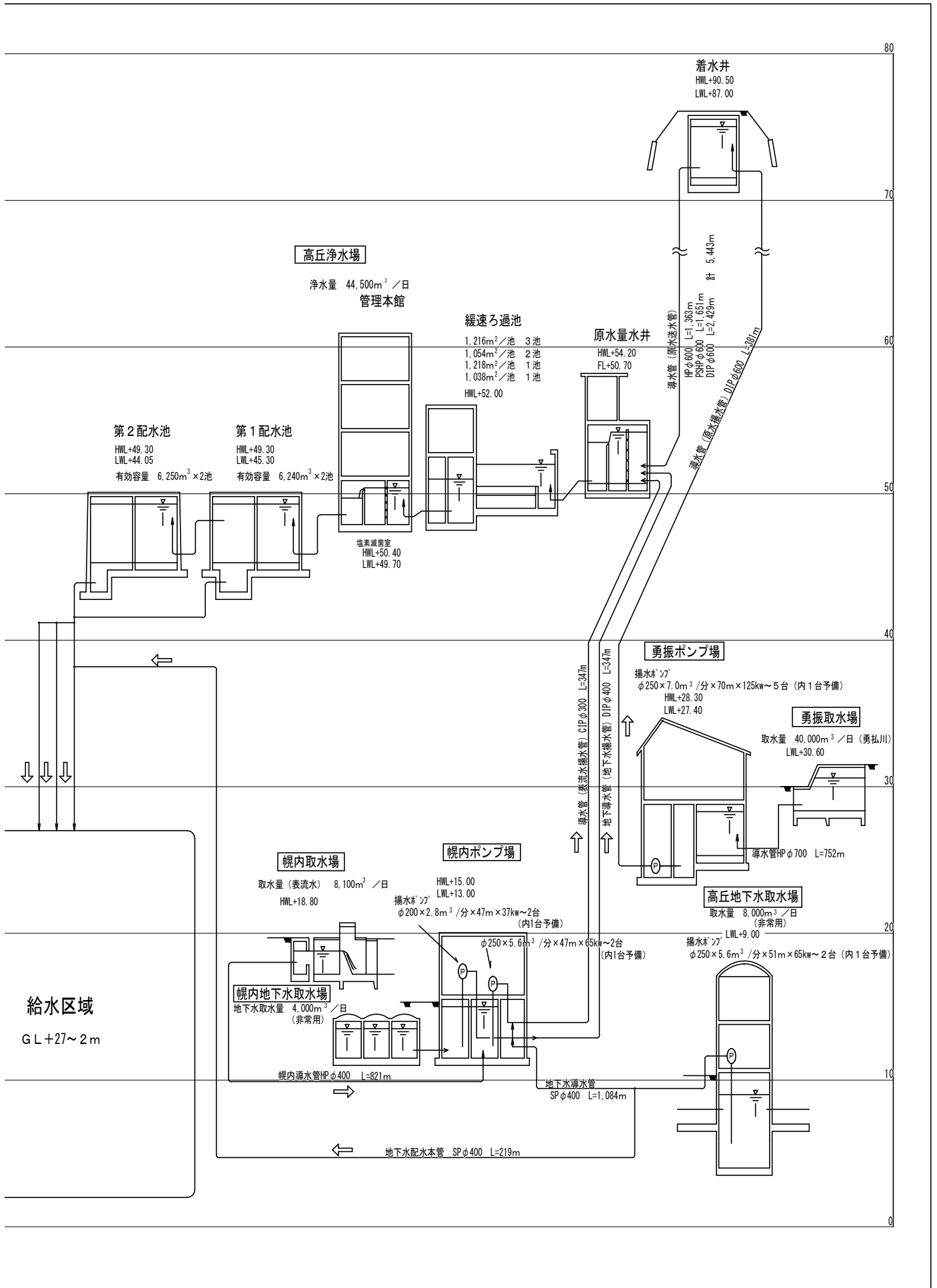
2 施設能力

区分	創設 (A)	第1次拡張事業 (B)	第2次拡張事業 (C)	計 (A)+(B)+(C)	非常用地下水源		
					幌内地下水取水場	高丘地下水取水場	錦多峰地下水取水場
取水河川名	幌内川	勇払川	錦多峰川		幌内地下水取水場	高丘地下水取水場	錦多峰地下水取水場
取水場名	幌内取水場	勇振取水場	錦多峰取水場				
取水能力	8,100 m ³ /日	40,000 m ³ /日	40,000 m ³ /日	88,100 m ³ /日	4,000 m ³ /日	8,000 m ³ /日	2,000 m ³ /日
配水能力		44,500 m ³ /日	36,000 m ³ /日	80,500 m ³ /日	4,000 m ³ /日	8,000 m ³ /日	2,000 m ³ /日
計画給水量				80,500 m ³ /日			
計画給水人口				182,000 人			
事業認可	S25.8.12	S37.3.31	S49.3.20		S55.8.23	S55.8.23	H28.2.24
着工	S25.8	S37.10	S49.4		S56.11	S56.11	H24.8
完成時期	S35.12	S51.3	継続		S60.3	S60.3	H27.12
通水	S27.5	S40.8	S52.8		S60.5	S60.5	H28.2
事業費	197,818 ^{千円}	2,218,918 ^{千円}	継続			1,442,115 ^{千円}	

※錦多峰地下水取水場の事業認可の日付は、届出日である。

3 施設フロー図





高丘浄水場

浄水量 44,500m³/日
管理本館

緩速ろ過池

1,216m²/池 3池
1,054m²/池 2池
1,218m²/池 1池
1,038m²/池 1池
HWL+52.00

原水量水井

HWL+54.20
FL+50.70

第2配水池

HWL+49.30
LWL+44.05
有効容量 6,250m³×2池

第1配水池

HWL+49.30
LWL+45.30
有効容量 6,240m³×2池

塩素滅菌室
HWL+50.40
LWL+49.70

勇振ポンプ場

揚水ポンプ
φ250×7.0m³/分×70m×125kw~5台 (内1台予備)
HWL+28.30
LWL+27.40

勇振取水場

取水量 40,000m³/日 (勇弘川)
LWL+30.60

幌内取水場

取水量 (表流水) 8,100m³/日
HWL+18.80

幌内ポンプ場

揚水ポンプ
φ200×2.8m³/分×47m×37kw~2台 (内1台予備)
HWL+15.00
LWL+13.00

高丘地下水取水場

取水量 8,000m³/日 (非常用)
LWL+9.00

幌内地下水取水場

地下水取水量 4,000m³/日 (非常用)

給水区域

GL+27~2m

4 施設概要

(1) 高丘系施設

ア 勇振取水場・ポンプ場ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
勇振取水場	取水堰堤	重力式コンクリート造 H=2m L=9.45m	40,000m ³ /日		S38 完成
	取水柵	鉄筋コンクリート造・鋳鉄製水門、ゲート電動化		1 門	H21 改良
	自動除塵機	背面下降全面掻上式ロー式		1 台	H4 設置
	計装設備	油膜検知器(H11)、濁度計(H20)		1 台	
	監視設備	監視カメラ(取水場2台、ポンプ場敷地内1台)		3 台	H22 設置
	排砂門	鉄筋コンクリート造 W=1.5m H=5m 門扉鋼製スライドゲートストンドル式		3 門	H6, 7 改良
	護岸 導水管	鉄筋コンクリートL型及び柵型コンクリートブロック擁壁 φ700mmヒューム管	752m		S39 完成
勇振ポンプ場	ポンプ場地階	鉄筋コンクリート造 227.8m ² ポンプ室・吸水井・マイクロストレーナ槽	40,000 m ³ /日		S39 完成
	ポンプ場上屋	鉄筋コンクリート造	229.4 m ²		
	電気室	電気室・発電機室・トイレ			H7 改良
	鉄骨上屋	水槽部分	133.2 m ²		
	マイクロストレーナ	1号, 2号 クレナイフト型 80メッシュ、 3号, 4号 クレナイフト型 150メッシュ、	10,000 m ³ /日/基	2 基	H5~6 改良
	ポンプ	縦軸片吸込渦巻ポンプ	7.0 m ³ /min	5 台	1台予備
	予備動力	空冷ディーゼルエンジン自動起動式	220 PS/1, 450rpm	1 台	
	衛生設備	低床式浄化槽	20人槽	1 基	
	電気設備	高圧受電設備(受電/主変圧/動力変圧)		1 式	
		動力設備(1~5号ポンプ電動機/コンテナ)		〃	
		直流電源盤, コントロールセタ, エンジン起動盤		各1面	
	予備電源	自家専用高圧送電線		1 式	
		3相交流発電機 200V×50Hz×30KVA 空冷ディーゼルエンジン自動起動式	53 PS/1, 500rpm	1 台	
計装設備	専用光ケーブル		8 C	H7 設置	
	テレメータ, テレコントロール盤(適用回線 光ケーブル)		1 面		
	制御盤		〃		
	濁度計, 電気伝導率計, 超音波流量計		各1台		
	ペーパース記録計(油膜検知, 電気伝導率)		〃		
揚水管	φ600mm メカニカル型ダクタイル鋳鉄管	381 m		S39 完成	
管理人住宅	軽量コンクリートブロック造 1棟2戸(現1戸)	H27 撤去	1 棟	S39 完成	
着水井	躯体	鉄筋コンクリート円形水槽 D=5 m H=4 m		1 基	S39 完成
	越流排水管	φ300mmヒューム管ポンプ場排水路迄			
原水送水管	送水管	φ600ヒューム管 カラ継手	1,363 m		S39 完成
		φ600PSヒューム管 ダブルカスケット	1,651 m		
		φ600ダクタイル鋳鉄管	2,429 m		
	仕切弁	横型(副管φ100)弁室とも		1ヶ所	
	空気弁	φ75双口空気弁		5ヶ所	
排泥装置	排泥弁φ150, 排出管φ300ヒューム管 21m		1ヶ所		

イ 高丘浄水場緩速ろ過池・管理本館（苫小牧市高丘101番地の1）ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考	
原水量水井	躯体	鉄筋コンクリート造 4.0×9.0×H4.0m 整流壁(軽量ブロック), 矩形堰(鉄筋コンクリート造)		1式	S39 完成	
		地下水用流入ピット 1.2×1.5×H4.2m			S60 増築	
	上屋	鉄筋コンクリート造 4.0×4.0×H3.5m				
	計装設備	表面散乱形濁度計		1台	H25 改修	
	流入管	φ300, φ600, φ400 (幌内, 勇振, 地下水)		3ヶ所		
	流出管	φ450 (ろ過池送水管2本, 滅菌井直送管1本)		〃		
	排水管	φ200 (場内排水管へ)				
	水位発信器	フロート式, 流入量は堰量式		1ヶ所		
緩速ろ過池	ろ過池(1~3号池)	鉄筋コンクリート造, 内矩29.0×43.0×H2.8	1,216 m ² /池	3池	S40 完成	
	ろ過池(4号池)	鉄筋コンクリート造, 内矩26.0×41.0×H2.85	1,054 m ² /池	1池	H24 改良	
	ろ過池(5号池)	〃	1,054 m ² /池	〃	H25 改良	
	ろ過池(6号池)	鉄筋コンクリート造, 内矩30.0×41.0×H2.85	1,218 m ² /池	〃	H26 改良	
	ろ過池(7号池)	鉄筋コンクリート造, 内矩25.0×42.0×H2.85	1,038 m ² /池	1池	H22 完成	
	引出室	内矩 3.0×3.0×H3.45+3.0×2.5×H3.45 1池1室		3ヶ所	1号~3号	
	引出室 (4号~7号池)	内矩 3.0×3.0×H3.35+3.0×2.5×H3.35 1池1室		4ヶ所	H22 7号改良 H24~26 4号~6号改良	
	上屋	内矩 3.1×5.35×H2.65~3.45 1池1室		3ヶ所	1号~3号	
	上屋 (4号~7号池)	建築面積6.48×3.58 A=23.20m ² 1池1室		4ヶ所	H22 7号改良 H24~26 4号~6号改良	
	計装設備	高感度濁度計		7台		
	ろ過水引出装置 (コントローラー1池)	ろ過量コントローラー 1池1式 ベンチュリ管φ400, 流量差圧発信器, 遠隔指示調節計, ろ過損失差圧発信器, 電動式ゲート 操縦機付流量調節弁φ400蝶型弁		各1台 〃 〃		
	砂 柵	鉄筋コンクリート造 第1期, 2期, 増設分	全容量 1,060m ³			
		汚砂柵 内矩 80.2×6.9×H1.3~1.4	760m ³	1柵		
		洗砂柵 内矩 37.2×12.4×H1.3~1.4	620m ³	2柵		
洗砂機室	鉄筋コンクリート造, 柱芯 6.5×10.0×H3.88		1ヶ所	H25 改良		
洗砂機	逆洗タンク方式	3m ³ /h	1台	H25 改良		
高丘浄水場	管理本館	鉄筋コンクリート造 3階建	延床面積 786m ²		S39 完成	
	1階	ポンプ室・電気室・滅菌室・トイレ 次亜塩素酸注入機及びタンク室			H3 増設	
	2階	事務室・管理室・水質試験室・宿直室				
	3階	会議室・展示室				
	電気設備	高圧低圧受電設備その他			1式	S60 改修
		自家専用高圧配電線 地下ケーブル L=564m 動力変圧器盤, 照明分電盤など 発電機	幌内ポンプ場へ		1台	
		太陽光発電設備 215W×10枚		2.15kW	1式	H25 新設
	計装設備	濁度計・pH計・残塩計・中央監視盤 操作デスク		1式	S60 改修	
	塩素滅菌井	地下 鉄筋コンクリート造 内矩 4.0×9.5×H3.2	最大 44,500m ³ /日		S39 完成	
	次亜塩素酸注入機	塩素ガス注入機から変更 (注入機室)		2台	H3 新設	
	次亜塩素酸タンク	FRP製	4m ³ /槽	2槽	〃	
	滅菌装置	デフューザ方式 (円ビ管φ125mm)				

排水沈澱池	洗砂排水沈澱池	鉄筋コンクリート造及び柵型コンクリートブロック造 内矩 13.9及び15.15×41.2×H1.55	400m ³ /日	2池	S49 完成
管理人住宅		コンクリートブロック造 1棟2戸 46.3m ² /戸	H18 撤去		S45 完成
		コンクリートブロック造 1棟2戸 49.8m ² /戸	〃		S46 完成
配水池	1号配水池	鉄筋コンクリート造 35.0×45.0×H4.85 (1期)	6,240m ³	1池	S39 完成
	2号配水池	〃 〃 緊急遮断弁(φ800 タグタイル鋳鉄製 緊急遮断ハブタイプ弁 震度検知式(250カール))	〃	〃	H18 改良
	3号配水池	鉄筋コンクリート造 40.0×30.0×H5.95	6,250m ³	〃	S59 完成
	4号配水池	〃 〃	〃	〃	〃

ウ 幌内取水場・高丘地下水取水場ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
幌内取水場	取水堰堤	重力式コンクリート造 H=0.8m L=5.45m	8,100m ³ /日		S56 改修
	取水柵	鉄筋コンクリート造, 除塵ステンレス板及びびネットスクリーン		1ヶ所	(S25 創設)
	護岸	鉄筋コンクリート逆T型擁壁			
	流砂止	コンクリート堰 下部鋼矢板遮水壁			
	排砂水路	鉄筋コンクリート造 B1.2m	33.7 m		
	堰部排砂門	鉄筋コンクリート造 アルゲート		1 門	
	その他 導水管	魚道、管理歩橋、沈床 φ400mmヒューム管 φ400mmダクタイル鉄管	741 m 57 m		S56 改修 (S25 創設)
幌内ポンプ場	上屋	鉄筋コンクリート造平屋 189.56m ² ポンプ室・操作室・電気室	表流水8,100m ³ /日 地下水4,000m ³ /日		S57 改修 (S25 創設)
	既設上屋	建物のみ残す			S25 完成
	地下水ポンプ井	地下水ポンプ井 内矩 6.25×4.05×H4.5 表流水ポンプ井 内矩 5.80×4.05×H4.5		1 池 "	非常用
	表流水揚水ポンプ	横型フライホイールリング付	5.6m ³ /min	2 台	
	地下水揚水ポンプ	"	2.8m ³ /min	2 台	1台は予備
	真空ポンプ	バルブゲージ付	0.28 m ³ /min	"	機械・電気 設備はS58更新
	検水ポンプ	"	10 ℓ/min	1 台	
	地下水集水埋渠	透水性半円形コンクリート造 外径 3.3m H=3.97 土被り2.0m	38.6 m	1 条	非常用
	電気設備	高圧受電設備(受電/主変圧/動力変圧)		1 式	
	予備電源	3相交流発電機 400V×50Hz×180KVA 低騒音キュービクル型ディーゼル発電機	220 PS/1,500rpm	1 台 1 台	S59 新設
	計装設備 付帯設備	遠方監視制御装置・流量計・水位計など 表流水導水管, 地下水導水管, 揚水管など		1 式 "	
	着水井	躯体	鉄筋コンクリート造 円形水槽	S40 使用停止	
配水池	躯体	鉄筋コンクリート造 1,245m ³ /池×2池 = 2,490m ³ バイパス管 (φ400配水本管) により配水	S60 使用停止		S25~27 完成
高丘地下水 取水場 (非常用)	上屋	鉄筋コンクリート造円形平屋 直径 9.2m H=7.5m 電気室・発電機室・ポンプ室・計器盤室	地下水8,000m ³ /日		S56 完成
	地下水ポンプ井	円形鉄筋コンクリート造 内径 8.0m H=7.3m			
	取水ポンプ	横型フライホイールリング付	5.6m ³ /min	2 台	ポンプ電気
	真空ポンプ	バルブゲージ付	0.28m ³ /min	"	S59 完成
	検水ポンプ	"	10 ℓ/min	1 台	
	電気設備	高圧受電設備(受電/主変圧/動力変圧)		1 式	
	予備電源 (ポンプ専用)	3相交流発電機 400V×50Hz×125KVA 低騒音キュービクル型ディーゼル発電機		1 台	ポンプ以外 は北電
	計装設備	遠方監視制御装置・水位計など		1 式	
	塩素滅菌機	次亜注入器 1.8ℓ/hr 小出し槽・配水圧力計・残留塩素計など		2 台 1 式	H9 完成
	地下水集水埋渠	透水性半円形コンクリート造 外径 2.0m H=1.3m 土被り 1.0m	95.5 m	1 条	
	地下水揚水管 付帯設備	φ400鋼管 L=1,304m 燃料小出槽, 貯油槽など	1,304 m	1 式 "	S57 完成

(2) 錦多峰系施設

ア 錦多峰取水場・錦多峰浄水場（苫小牧市錦岡330番地）ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考	
錦多峰取水場	取水堰堤	油圧式鋼製自動転倒ゲート H=1.2m L=22.0m 油圧シリンダー(起立角度60度, ストローク 600mm)	40,000m ³ /日	1連	S49 完成	
	取水口	鉄筋コンクリート造, 鋼製バースクリーン, 制水扉、ゲート電動化		1ヶ所	H20 ゲート改良	
	導水路	鉄筋コンクリートボックスカルバート 1.2×1.2 L=25m				
	排砂門	鉄筋コンクリート造 B5.0m H=7.6m		1門		
	管理歩橋	鋼製橋 エキスパンドメタル敷 アルミ手摺 L=22.9m		1連		
	堤体エプロン	鉄筋コンクリート造 B28.0m				
	遮水壁	鋼矢板 H=8.0m 上、下流2段				
	護岸	鉄筋コンクリート逆ト型擁壁 L=166m コンクリート連結ブロック A=3,240m ²				
	沈床ブロック	コンクリート3連ブロック A=810m ²				
	魚道	鉄筋コンクリート造 B2.0m				
監視設備	監視カメラ			2台	H23 設置	
沈砂池	躯体	鉄筋コンクリート造 流入水路 B1.5×H4.4 L=6.9m 整流室 内矩 8.0×2.1×H5.3 沈砂池 内矩 8.0×20.6×H6.3	貯水量 412m ³ 滞留時間 15分	1池	S49 完成	
	上屋操作室	鉄筋コンクリート造 84.8m ² 8.4×10.1×H4.0				
	附属配管	φ900ゲタイル铸铁管など		1式		
	自動除塵機	ステンレス製 メッシュベルトコンベア型 網目10mm 水中ポンプ・減速機その他	1.5 m/分	1台		
	電気計装設備	動力盤・ゲート操作盤・濁度計など 有機物検知器 (UV計) ・油膜検知器		1式	H10~11 設置	
	導水管	φ900mm ケミカルレストレッシングヒューム管 φ900mm 鋼管 水管橋φ900(L=66)	1,753 m 293 m		S51 完成	
	錦多峰浄水場	管理本館	鉄筋コンクリート造 地下1階, 地上2階	延床面積 2,560m ²		S50 完成
地階	薬品庫(PAC貯留槽・移送及び汚泥ポンプなど) 操作室(汚泥攪拌機・加圧給水ポンプなど) 操作室下水槽(汚泥池・排水池)	床面積 871 m ²				
1階	電気室・搬入室・発電機室・ボイラー室・機材庫 滅菌室・次亜貯蔵室(タンク2槽)・会議室など	床面積 904 m ²			H1 改造	
2階	中央管理室・水質コーナー・応接室・和室・事務室 水質試験室・薬品庫・薬品注入機室など	床面積 712 m ²				
屋上塔屋	水槽室(高架水槽・PAC小出槽)	床面積 73 m ²				
衛生・暖房設備				1式		
消火栓設備				1式		
浄水場池棟	躯体	鉄筋コンクリート造	延床面積 2,560m ²		S50 完成	
	上屋	鉄骨構造(屋根長尺折版葺) 壁 ALC板	2,250 m ²			
	浄水設備	設備の1/2を完成 H6,9で残り設備完了 1次混和池・フロック形成池・沈澱池・2次混和池 流出流入渠・急速ろ過池・浄水渠・浄水池	36,000m ³ /日			
	1次混和池	内矩 3.5×3.5×H5.5 混和ポンプ 横軸片吸込渦巻ポンプ		1池 2台		
	フロック形成池	内矩 14.0×12.8×H4.25~4.35 上下迂流板(角落し式)		2池		
	沈澱池	整流壁・沈降装置(フィン付傾斜板)・集水トラフ	H4 北側設備設置	2池	H16 改良	
	2次混和池	内矩 3.5×3.5×H4.5 混和ポンプ 横軸片吸込渦巻ポンプ		1池 2台	休止	

イ 浄水場池棟・ポンプ棟ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
浄水場池棟	急速ろ過池	ろ過水量 定速ろ過方式(グリーンリーフフィルター) ユニット構成 4池 / 1ユニット×4 1池 内矩 5.65×4.85×H4.5 ろ過砂 均等係数1.4 有効径0.6 厚600mm ろ過砂利 2~20mm 厚75mm×4層 厚300mm ろ床集水装置 有孔フロック(セラミックフロック) 流入サイホン・排水トラフ・排水サイホン・表洗装置 流入渠 内矩 B1.8×H1.4 L=17.6m	36,000m ³ /日 1~8号池は当初 9~16号池は H4~8で設備新設	16池	H9~10 改良 珪砂使用
	浄水渠 1	内矩 B3.65×H4.05 L=20.6m 流出堰	2ユニットで1池	2 条	
	浄水渠 2	内矩 B1.8×H4.05 L=35.4m	浄水渠1の集合池	1 条	
		連通管 φ300mm ダクタイル鋳鉄管	浄水渠1の連通		
	浄水ハイパス渠	内矩 B3.05×H5.5 L=6.45m	ポンプ井に直結	1 条	
	浄水池	内矩 B7.4×42.0×H3.5及び5.85 流入仕切弁 φ500mm 流出仕切弁 φ700mm		2ヶ所 1ヶ所	
	操作室	内矩 4.3×12.95×H3.6 真空設備(流入、流出サイホン用), 空圧設備			
	附属ポンプ設備	池棟洗浄その他検水ポンプ		1 式	
附属配管設備	表洗管・逆洗排水管その他		1 式		
薬品注入設備	PAC貯留槽	FRP製(地下薬品庫の当初はバンド貯留槽) H7年7月に硫酸バンドから変更	20m ³ /槽	2 槽	S51 完成
		小出槽 FRP製(屋上塔屋)	1m ³ /槽	1 槽	
	PAC移送ポンプ	横型40A×50 ℓ/分(マグネットポンプ)		2 台	H5 取替
	注入設備	大・小流量調節弁、原水比例注入(注入機室)			H6 改良
	配管その他	貯留槽~移送ポンプ~小出槽~注入機~注入点			
滅菌設備	次亜塩素酸注入機	塩素ガス注入機から変更(交互運転) 自動調節注入方式 1.25 ℓ/h~25 ℓ/h		2 台	H1 取替
	次亜塩素酸タンク	FRP製	有効容量 2m ³	2 槽	
		FRP製	有効容量 4m ³	1 槽	
	注入配管	HIVP φ13~φ50		1 式	
ポンプ棟	ポンプ井	鉄筋コンクリート造 内矩 24.9×11.1×H5.8	有効容量 775m ³	1 池	S50 完成
	上屋	鉄筋コンクリート造 内矩 25.15×11.1×H6.5 屋根 半円筒形プレストレストコンクリートスラブ			
	送水ポンプ	両吸込渦巻きポンプ(フライング付) φ350×250mm×13.9m ³ /分×51m φ200×100mm×3.5m ³ /分×51m		3 台 1 台	H26 更新
	その他	表洗ポンプ2台など	あ		
電気計装設備	電気設備	高圧受電設備(受電/主変圧/動力変圧)		1 式	H17 更新
	計装設備	テレメタ装置(配水池)・コントローラ盤(場外・場内)1式 計装変換器盤・その他発信器など		1 式	H20 更新
		GLFコントロールユニット(逆洗・表洗自動操作装置)		1 式	H4 完成
	監視計器	残塩・色度・PH・濁度、総合水質計監視PCなど		1 式	
	監視ロガー	VDT監視装置×2、レーザプリンター・デスド盤×4	中央監視設備	1 式	H20 更新
	自家発電設備	開放保護型3相同期発電機 ブラシレス式 3φ×3w×220V×375kVA×50Hz 4極 ディーゼルエンジン 395kw以上 1500rpm エンジン冷却装置 ラジエータ方式		1 台 1 式	H23 更新
付帯設備	ボイラー	温水ボイラー・給湯ポンプ			

ウ 浄水場排水排泥設備・配水池ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考	
排水施設	排水池	管理本館地下 最大処理量 排水ポンプ(自吸式横軸特殊) φ150×4.2・/分	3,500 m ³ /日	1池	S52 完成	
	排泥池	管理本館地下 最大処理量 排水ポンプ(自吸式横軸特殊) φ150×3.2・/分	230 m ³ /回	1池	〃	
浄水汚泥処理施設	ラグーン	鉄筋コンクリート造 内矩 16.0×12.0×H2.0~2.1 砂層(海砂) 厚 0.6~0.7m 有孔集水トラフ(ボロンU形) φ180mm L=15.0m 中央集水渠 内矩 B1.2×12.0×H2.3~2.4 上澄水排水可動堰 鋼製 巾800 H=1.2m 附属配管その他		2池 6条/池	S53 完成 H14~15 改良	
	天日乾燥床	遮水シート=1.5mm 464m ² 吸出防止マット445m ² 池床3・5舗装375m ²	容量650m ³	1池	H14 完成	
		遮水シート=1.5mm 378m ² 吸出防止マット485m ² 池床3・5舗装450m ²	容量390m ³	2池	H15 完成	
		遮水シート=1.5mm 286m ² 吸出防止マット220m ² 池床 5舗装 278m ²	容量377m ³	1池	H19 完成	
	遮水シート=1.5mm 408m ² 吸出防止マット319m ² 池床4・5舗装 238m ² 送泥管 φ200mm DIP L=93m	容量322m ³	1池	H20 完成		
送水管	送水管	φ600mm 水道用塗覆装鋼管	510 m		S52 完成	
		φ600mm タクタイト鉄管	71 m			
		φ600mm タクタイト鉄管	174 m		H25 完成	
		可とう管 7カ所 仕切弁 φ600蝶形弁など			S52 完成	
		可とう管 1カ所 仕切弁 φ600蝶形弁など			H25 完成	
配水池	第1配水池	鉄筋コンクリート造 半露出円形ドーム型 D=33.0 有効水深 8.0m (HWL+48.0m) 外壁 プレキャストコンクリート版貼り	有効容量6,840m ³	1池	S51 完成	
	第2配水池	プレレストコンクリート造 半露出円形ドーム型 D=33.0 有効水深 8.0m (HWL+48.0m) 外壁 セラミックブロック張り 内部円形流路型階段	有効容量6,840m ³	1池	H2 完成	
	第3配水池	プレレストコンクリート造 半露出円形ドーム型 D=26.3 有効水深 8.0m (HWL+48.0m) 外壁 押出成型セメント板 内部円形流路型階段 緊急遮断弁(φ600 タクタイト鉄製 緊急遮断ハブフライ弁 震度検知式(250ガル))	有効容量4,320m ³	1池	H26.3月 供用開始	
	管理橋	鋼製主桁φ600mm鋼管 歩廊グレーチング B=0.85	12.2m		H2 完成	
	流入コントロール弁	φ600mm電動蝶型(開度発信器付) 開度調節計その他制御盤		1台 1式	H2 完成	
	仕切弁室	鉄筋コンクリート造 円形地下1地上1階 D=6.0m B1 H=3.05m 1F H=3.0m				S51 完成
		仕切弁(電動開閉台付) φ600mm 配水流用	堅型蝶型	3台		
		〃 φ300mm 洗浄排水用	堅型スルス	2台		
		配水動力制御盤		1面	H25 完成	
		その他附属配管			S51 完成	
排水設備	排水管 φ400mm ヒューム管		535.5m			
	〃 φ300 〃		44 m			
	〃 φ150 〃		33 m			
放流口	鉄筋コンクリート造 浄水場周囲排水路に放水					

エ 錦多峰地下水取水場ほか

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
錦多峰地下水取水場 (非常用)	上屋	鉄筋コンクリート造 平屋 延床面積 41.60m ²	地下水2,000m ³ /日		H27 完成
	井戸	深度 H=67.0m			
	ケーシング管	口径 φ300 FRPM管 L=55.00m	55.00m	1 式	
	スクリーン管	口径 φ300 FRPM管 L=12.00m (有効長 10.08m)	12.00m	1 式	
	水中ポンプ	JIS B8324 口径φ125mm 全揚程 16m、	1.56m ³ /min	1 台	
	揚水管	口径 125A SUS304 L=21.00m	21.00m	1 式	
	電気設備	変圧器 電磁開閉器など		1 式	
	計装設備	遠方監視制御装置・水位計など		1 式	
	薬注システム	ソレノイド駆動定量ポンプ搭載 最大吐出量 30m ³ /min、最大吐出圧力 1.0MPa		1 式	ポンプ棟に設置
付属設備	予備ポンプ1台 電動ホイス ト など		1 式		

(3) 植苗配水中継ポンプ場

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
ポンプ場	上屋	鉄筋コンクリート造 平屋 70.72㎡ 土地 523㎡ ポンプ室・器材庫・電気室・発電機室			H11 完成
	地階	内矩7.25m×2.05m×h1.10m 貯水槽 2池(16.3㎡/池×2) ・配管室	有効貯水量 30㎡	2池	
	配水ポンプ	電動機直結横軸渦巻ポンプ φ32 揚程 50m	57 ℓ/分	2台	
	消火栓ポンプ	多段渦巻ポンプ φ80 揚程 50m	0.5㎡/分	1台	
	電気設備	引込開閉器盤・低圧受電盤・動力盤その他		1台	
	計装設備	総合水質計・流量計・ペーパレス記録計 故障通報器(コルソス) ・計装盤その他		1式	

(4) グリーンヒルポンプ場

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
ポンプ場	上屋	鉄筋コンクリート造平屋、床面積103.26㎡ 土地666㎡ 電気室・発電機室・ポンプ室			S60 完成 H8 市に移管
	地下受水槽	鉄筋コンクリート造、内矩13.3m×3.15m×h3.4m 有効容量100.6㎡×2池 (HWL12.45m・LWL9.95m)	有効容量 201㎡	2池	
	送水ポンプ	片吸込多段渦巻きポンプ φ80mm		4台	1台予備
	電気設備	幹線設備・動力設備・弱電設備・動力盤		1式	
	計装設備	コントロール設備・指示計・記録計・積算計 警報装置(コルソス) ・総合水質計		1式	
	自家発電設備	発電機75KVA 放流冷却パッケージ低騒音型			
流入管	φ200mm				
高架水槽	高架水槽塔	鉄筋コンクリート造 円筒型(水槽・階段室・操作室)			S60 完成
	水槽	有効水深2.0m HWL72.0m LWL70.0m	有効容量 63㎡	1池	
	電気・計装設備	水位計・電磁流量計・照明設備など		1式	
流出管	φ150mm				

(5) スプリングス高丘ポンプ場

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
ポンプ場	上屋	鉄筋コンクリート造平屋、床面積68.52㎡ 土地209㎡ 計装室・発電機室・ポンプ室			H8 完成 H22 市に移管
	地下受水槽	鉄筋コンクリート造、内矩9.2m×3.2m×h2.75m 有効容量60.4㎡×2池(有効水深)	有効容量 121㎡	2池	
	給水ポンプ	φ40mm×102ℓ/分×49mm×1,500min-1×3.7Kw		4台	1台予備
	電気設備	電源引込盤・動力制御盤		1式	
	計装設備	受水槽水位計、配水流量計、配水積算計、記録計		1式	

(6) 配水コントロール施設

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
配水コントロール施設	上屋	鉄筋コンクリート造 地上1階地下1階建 建築面積 30.43㎡、延べ床面積 59.51㎡ 土地 200㎡ 搬入室・電気室・階段室・配管室			H17 完成
	流量調整弁	電動流量調整弁 φ300mm 電動流量調整弁 φ100mm		1台 1台	
	計装設備	配水コントローラ盤・警報装置(コルソス) 遠隔操作設備(錦多峰浄水場)		1式 1式	H20 完成
	外構	格子状フェンス(h=1.8m) 38m、(h=1.2m) 37m 門扉両開き 1基、引き戸 1基、場内舗装 132㎡			

(7) 緊急災害用水道機材貯蔵庫

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
錦多峰緊急 災害対策用 水道機材貯蔵庫	敷地	錦岡330番地 錦多峰浄水場構内			
	上屋	鉄骨ﾌﾟﾚﾊﾞﾌﾞ平屋 内矩 12.77×16.27×h4.64 外壁 アルミ合金ﾓｯｷ鋼板 屋根 折板(亜鉛ﾓｯｷ)	面積 207.9㎡	1棟	H9完成
	建具	木製棚2段、2t吊りチェーンﾌﾞﾛｯｸ			
	貯蔵機材	給水容器(10ℓ)、給水タンク(2㎡)、その他		1式	
日の出公園緊急 災害対策用 水道機材貯蔵庫	敷地	日の出町1丁目1番地 日の出公園内			
	上屋	鉄骨造2階建 内矩 13.00×24.00×h4.90 外壁 防火ﾌﾞﾚｲｷﾝｸﾞ 屋根 アルミ亜鉛合金ﾓｯｷｶｰ鋼板	面積 312.0㎡	1棟	H18完成
	建具	木製棚2段、1t吊りチェーンﾌﾞﾛｯｸ			
	貯蔵機材	給水容器(10ℓ)、給水タンク(2㎡)、その他		1式	
外部	消火栓		1基		

(8) 水道機材貯蔵施設

施設名称	設備名	設備概要	能力・その他	数量	備考
樽前資材倉庫	敷地	樽前201番地の2			
	上屋	RC造 内矩 8.05×5.55×H3.00 外壁 EP板、屋根 ステンレス焼付鋼板	面積 44.7㎡	1棟	樽前ポンプ場としてS59完成 H18より倉庫として使用
	貯蔵機材	給水容器(10ℓ)		1式	
高丘資材倉庫	敷地	高丘101番地の1 高丘浄水場内			
	上屋	鉄骨造 内矩 12.73×9.10×H4.70 外壁 カｰ鉄板、屋根 カｰ鋼板	面積 115.8㎡	1棟	S49完成
	建具	鉄板棚2段、1t吊りチェーンﾌﾞﾛｯｸ			
貯蔵機材	給水タンク(2㎡)、その他		1式		
庁舎資材倉庫	敷地	旭町4丁目5番6号 庁舎敷地内			
	上屋	木造	面積 195.3㎡	1棟	
	建具	木製棚2段			
貯蔵機材	給水タンク(1㎡)、その他		1式		

(9) 災害用備蓄機材

機 材 名	規 格	数 量	備 考
給 水 車	ステンレス製 1.7 m ³	1 台	加圧式
給 水 タ ン ク	アルミ製 2.0 m ³	6 台	計 24台
	樹脂製 2.0 m ³	2 "	
	樹脂製 1.2 m ³	9 "	
	アルミ製 1.0 m ³	2 "	
	折畳式 1.0 m ³	5 "	
給 水 容 器	10 ℓ	33,000 個	
給 水 袋	10 ℓ	7,500 袋	
給 水 袋	6 ℓ	15,000 "	
仮 設 給 水 栓	ステンレス製 φ75 給水栓 12個付き	4 台	計 9台
	" " 給水栓 6個付き	5 "	
エンジン付給水ポンプ	φ40×φ40 全揚程32m 吸込揚程8m 最大吐出量600ℓ/min	1 "	
給 水 用 水 中 ポ ン プ	φ50×30 ℓ/分×9.5m×100v	6 "	計 7台
	φ50×30 ℓ/分×9.5m×200v	1 "	
発 動 発 電 機	2700W×100v×30A 軽油	1 "	計 3台
	2200W×100v×22A ガソリン	1 "	
	1600W×100v×16A ガソリン	1 "	
コ ー ド リ ー ル	L = 20m	5 "	
照 明 用 投 光 器	100v×500w	4 灯	
ジ ェ ッ ト ヒ ー タ ー	灯油	2 台	
無 線 ア ン テ ナ	可搬式移動局用 10m	1 基	
テ ン ト		4 張	
梯 子	アルミ製 2連 L=4.42m	2 台	
看 板 (給 水 所)	木製 0.9m×1.8m	5 枚	

(10) 緊急貯水槽

設 置 地 区 名	規 格	設置場所	備 考
中央第5地区	40m ³ 級、φ1500mm、L23.85m	日の出公園 H16設置	公園補助
東部第6地区	60m ³ 級、φ2600mm、L12.28m	沼ノ端小学校 H21設置	厚労省補助
西部第4地区	100m ³ 級、φ2600mm、L19.28m	泉野小学校 H22設置	厚労省補助
西部第7地区	60m ³ 級、φ2600mm、L12.28m	豊川小学校 H23設置	厚労省補助
東部第5地区	40m ³ 級、φ2000mm、L14.04m	勇払中学校 H23設置	市単独費
東部第4地区	40m ³ 級、φ2000mm、L14.04m	ウナイ小学校 H24設置	厚労省補助
西部第3地区	100m ³ 級、φ2600mm、L19.28m	澄川小学校 H25設置	厚労省補助
東部第2地区	100m ³ 級、φ2600mm、L19.28m	拓勇小学校 H26設置	厚労省補助
中央第3地区	60m ³ 級、φ2600mm、L12.28m	若草小学校 H27設置	厚労省補助

(11) 導・送・配水管布設現況及び消火栓

ア 導・送水管

単位:m

口 径 mm	鋼 管	ステンレス鋼管	ヒューム管	PSヒューム管	普通铸铁管	ダクタイル铸铁管		口径別延長 合 計
	S P*	SUS*	H P	PSHP	CIP	DIP	DIP(耐震管)*	
φ 300					248.39	94.15		342.54
φ 400	1,084.29		714.36			500.65	177.53	2,476.83
φ 600	508.64		1,363.00	1,651.00		3,027.86	2,004.51	8,555.01
φ 700			752.00					752.00
φ 900	119.04			2,023.14		72.70		2,214.88
合 計	1,711.97	0.00	2,829.36	3,674.14	248.39	3,695.36	2,182.04	14,341.26

イ 配水本管

単位:m

口 径 mm	鋼 管	ステンレス鋼管	PSヒューム管	普通铸铁管	ダクタイル铸铁管		口径別延長 合 計
	S P*	SUS*	PSHP	CIP	DIP	DIP(耐震管)*	
φ 400	10,636.01	499.45		923.63	24,538.25	15,037.11	51,634.45
φ 600	22,226.70	12.85			84.72	1,124.01	23,448.28
φ 800	3,608.30		1,314.21			674.15	5,596.66
合 計	36,471.01	512.30	1,314.21	923.63	24,622.97	16,835.27	80,679.39

ウ 配水管

単位:m

口 径 mm	鋼 管	ステンレス鋼管	普通铸铁管	ダクタイル铸铁管(DIP)		塩化ビニール管	ポリエチレン管(PP)		口径別延長 合 計
	S P*	SUS*	CIP	A型,T型	耐震管*	V P	硬 質	軟 質	
φ 50							2,811.71	234,509.60	237,321.31
φ 75			1,124.92	8,884.48	2.05	3,805.46			13,816.91
φ 100	503.01	303.95	5,641.17	514,392.17	5,677.28	3,964.76		11.97	530,494.31
φ 150	649.08	774.69	789.87	179,447.91	2,102.61	7,413.82			191,177.98
φ 200	498.34	567.26	3,888.78	94,344.72	2,520.25				101,819.35
φ 250	304.39	104.76	7,453.49	21,853.59	279.34				29,995.57
φ 300	406.59	75.80	340.62	11,548.06	10,408.41				22,779.48
φ 350	10.00		332.57	1,940.56					2,283.13
合 計	2,371.41	1,826.46	19,571.42	832,411.49	20,989.94	15,184.04	2,811.71	234,521.57	1,129,688.04

エ 配水管全体延長推移(年度別)

単位:m

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
布 設 延 長	4,241.38	4,867.65	1,522.84	2,961.85	4,101.89
累 計 延 長	1,156,069.60	1,160,937.25	1,203,303.69	1,206,265.54	1,210,367.43

オ 消火栓設置数

単位:基

消 火 栓 形 式							合 計
高橋式		前沢式		スワン式		地下式	
単 口	双 口	単 口	双 口	単 口	双 口		
103	28	939	290	608	145	0	2,113

* 耐震性能を有している管種

Ⅲ 業務状況

- 1 水量等一覧表（取水・配水・電力・薬品）
- 2 給水状況（給水人口・普及率・有収水量）
- 3 給水装置工事
 - (1) 検査手数料及び加入金実績
 - (2) 給水装置設置件数
- 4 漏水件数
 - (1) 配水管漏水件数
 - (2) 給水管漏水件数（公道内）
- 5 給水管凍結件数
- 6 水道メーター設置個数
 - (1) 器種別設置個数
 - (2) 口径別設置個数
- 7 営業状況
 - (1) 給水件数
 - (2) 調定状況
 - (3) 収納状況

1 水量等一覧表

(平成27年度)

月	取 水 量 (m ³)						ろ 過 水 量						次 亜 塩 注 入 量										
	高 丘				錦 多 峰	合 計	高 丘	錦 多 峰	合 計	平均ろ過速度		高 丘		錦 多 峰		合 計							
	表 流 水		地 下 水							表 流 水	高 丘	錦 多 峰	高 丘	錦 多 峰	塩素換算	平均	塩素換算	平均	塩素換算	平均			
	勇 弘 川	幌 内 川	高 丘	幌 内	錦 多 峰 川	(緩速ろ過方式)	(急速ろ過方式)	m ³	m ³	m ³	m/日	m/日	注 入 量	注 入 率	注 入 量	注 入 率	注 入 量	注 入 率					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)			m ³	m ³	m ³			kg	mg/L	kg	mg/L	kg	mg/L						
4	526,260	225,626	23,332	169,079	656,121	1,600,418	901,425	579,759	1,481,184	4.3	51.6	671.9	0.74	414.6	0.63	1,086.5	0.69						
5	735,252	222,753	11,385	67,030	683,824	1,720,244	935,250	601,623	1,536,873	4.4	51.8	711.6	0.76	457.7	0.67	1,169.3	0.72						
6	840,334	206,576	6,517	82,574	730,299	1,866,300	867,393	650,376	1,517,769	5.0	58.7	777.5	0.89	499.4	0.68	1,276.9	0.79						
7	939,982	220,208	8,490	36,806	733,332	1,938,818	928,263	651,984	1,580,247	4.5	56.2	861.7	0.92	491.3	0.67	1,353.0	0.80						
8	844,321	216,010	3,276	22,494	710,171	1,796,272	924,485	629,937	1,554,422	4.5	54.9	861.8	0.93	506.7	0.71	1,368.5	0.82						
9	585,239	213,839	23,823	109,247	695,563	1,627,711	877,062	617,951	1,495,013	3.7	56.7	812.1	0.93	482.1	0.69	1,294.2	0.81						
10	682,921	215,864	10,025	35,355	684,553	1,628,718	920,303	606,484	1,526,787	3.7	61.4	882.7	0.97	474.9	0.69	1,357.6	0.83						
11	774,245	205,339	0	21,131	623,064	1,623,779	925,589	549,890	1,475,479	4.3	51.8	729.9	0.80	404.9	0.65	1,134.8	0.73						
12	776,457	224,607	0	27,052	653,668	1,681,784	976,883	575,306	1,552,189	4.1	49.6	684.8	0.71	385.4	0.59	1,070.2	0.65						
1	765,089	223,851	0	4,602	601,129	1,594,671	1,010,133	525,170	1,535,303	4.0	46.4	584.0	0.59	317.0	0.53	901.0	0.56						
2	711,500	202,484	0	8,392	614,596	1,536,972	938,820	541,079	1,479,899	4.0	51.1	547.7	0.59	336.0	0.55	883.7	0.57						
3	734,231	213,635	0	22,016	653,246	1,623,128	972,152	572,993	1,545,145	3.9	50.6	661.3	0.69	370.8	0.57	1,032.1	0.63						
合計	8,915,831	2,590,792	86,848	605,778	8,039,566	20,238,815	11,177,758	7,102,552	18,280,310	4.2	53.4	8,786.9	0.79	5,140.8	0.64	13,927.7	0.71						
表流水合計(1)+(2)+(5)		19,546,189 m ³		日平均取水量		55,297 m ³		日平均ろ過水量		49,946 m ³		原 水		高 丘 最		6.2 度 平		1.0 度					
地下水合計(3)+(4)		692,626 m ³		日最大取水量		70,918 m ³		6月26日(地下水 310 m ³ 含む)		日最大ろ過水量		56,459 m ³		9月17日		濁 度		錦 多 峰 高		72.0 度 均		0.7 度	

月	配 水 量			電 力 量 (Kw)														PAC(錦多峰浄水場)	
	高 丘	錦 多 峰	合 計	日最大(合計)		高 丘				錦 多 峰				合 計	月 計	平 均			
				日	水 量	勇 振	幌 内	浄水場	高丘地下取水場	幌内量	高 丘 計	浄 水 場	取 水 場				錦 多 峰 計		
	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	三相	单相	水 器 室	高 丘 計	浄 水 場	三相	单相	錦 多 峰 計	kg	mg/L				
4	907,153	573,812	1,480,965	23	51,155	151,020	71,754	11,670	452	212	11	235,119	128,690	87	588	129,365	364,484	25,866	39.4
5	938,982	592,779	1,531,761	11	51,710	206,820	56,800	11,120	488	225	6	275,459	132,980	77	589	133,646	409,105	27,419	40.1
6	873,283	643,057	1,516,340	19	52,665	235,920	57,322	11,630	461	234	6	305,573	137,700	72	524	138,296	443,869	28,479	39.0
7	934,165	646,481	1,580,646	24	53,345	258,300	52,856	12,040	337	239	6	323,778	139,800	78	508	140,386	464,164	27,867	38.0
8	940,564	621,582	1,562,146	5	55,111	238,260	41,176	10,880	268	252	6	290,842	136,160	82	511	136,753	427,595	27,010	38.0
9	887,282	604,963	1,492,245	14	52,641	169,200	61,802	11,110	384	236	6	242,738	132,200	77	497	132,774	375,512	26,527	38.1
10	924,559	594,072	1,518,631	14	50,724	192,900	51,728	13,000	480	259	9	258,376	133,080	79	530	133,689	392,065	26,004	38.0
11	929,493	537,137	1,466,630	12	50,352	221,940	47,766	11,610	503	263	22	282,104	123,370	73	542	123,985	406,089	23,706	38.0
12	980,783	576,457	1,557,240	31	54,825	221,940	51,132	14,580	518	723	28	288,921	128,850	79	694	129,623	418,544	24,883	38.1
1	1,015,329	523,574	1,538,903	5	51,667	224,340	48,038	16,210	512	1,759	40	290,899	120,320	93	793	121,206	412,105	22,988	38.2
2	944,258	540,030	1,484,288	24	53,721	205,920	45,110	14,410	483	1,599	32	267,554	120,770	84	713	121,567	389,121	24,285	39.5
3	978,226	572,485	1,550,711	17	51,402	211,680	49,740	13,140	514	1,586	19	276,679	127,500	78	691	128,269	404,948	25,328	38.8
合計	11,254,077	7,026,429	18,280,506	—	—	2,538,240	635,224	151,400	5,400	7,587	191	3,338,042	1,561,420	959	7,180	1,569,559	4,907,601	310,360	38.6
日平均	30,749	19,198	49,947	日最大配水量		高 丘 36,380 m ³		1月28日		錦 多 峰 25,476 m ³		7月3日		合 計 55,111 m ³		8月5日			
稼働率	68.6	53.9	62.0	時間最大配水量		高 丘 2,495 m ³		1月28日20時		錦 多 峰 1,827 m ³		7月3日8時		合 計 3,888 m ³		8月5日8時			

2 給水状況(年度別)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	行政区域内人口 (人)	173,761	173,912	173,884	173,640	173,308
B	給水区域内人口 (人)	172,534	172,866	172,784	172,603	172,331
C	給水人口 (人)	172,376	172,728	172,657	172,481	172,216
D	給水戸数 (戸)	81,206	81,496	81,962	82,418	82,645
E	給水普及率 (%) $C/B \times 100$	99.91	99.92	99.93	99.93	99.93
F	年間総取水量 (m^3)	20,710,349	19,880,040	20,195,075	20,621,039	20,238,815
G	年間総浄水量 (m^3)	18,457,445	18,376,287	18,122,551	18,297,183	18,280,310
H	年間総配水量 (m^3)	18,365,848	18,397,112	18,321,194	18,326,719	18,280,506
I	1日最大配水量 (m^3 /日)	59,870	58,166	55,728	55,594	55,111
J	1日平均配水量 (m^3 /日) $H/\text{年日数}$	50,180	50,403	50,195	50,210	49,947
K	1人1日最大配水量 (l /人/日) $I/C \times 1,000$	346	336	322	321	319
L	1人1日平均配水量 (l /人/日) $J/C \times 1,000$	291	292	291	291	290
M	有効水量 (m^3) $N+R$	16,955,114	17,031,645	16,815,068	16,729,815	16,634,070
N	有収水量 (m^3)	16,425,745	16,477,372	16,250,395	16,183,492	16,094,895
O	1日平均有収水量 (m^3 /日) $N/\text{年日数}$	44,879	45,143	44,522	44,338	43,975
P	1人平均有収水量 (l /人/日) $O/C \times 1,000$	260	261	258	257	255
Q	有収率 (%) $N/H \times 100$	89.4	89.6	88.7	88.3	88.0
R	無収水量 (m^3) $M-N$	529,369	554,273	564,673	546,323	539,175
S	有効率 (%) $M/H \times 100$	92.3	92.6	91.8	91.3	91.0
T	無効水量 (m^3) $H-M$	1,410,734	1,365,467	1,506,126	1,596,904	1,646,436

3 給水装置工事

(1) 検査手数料及び加入金実績(年度別)

(単位:件、個、円)

		平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		件数	個数	金額	件数	個数	金額	件数	個数	金額
その他 営業 収益	設計審査手数料	969	2,012	20,893,800	848	1,725	17,424,100	924	1,952	19,667,900
	検査手数料	968	2,011	22,742,200	888	1,721	19,514,800	970	1,952	22,168,200
	計	1,937	4,023	43,636,000	1,736	3,446	36,938,900	1,894	3,904	41,836,100

(単位:個、円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		個数	金額	個数	金額	個数	金額
水道 利用 加入 金	φ13	1,090	41,508,600	990	38,208,240	1,082	41,767,920
	φ20	12	1,108,800	20	1,923,720	24	2,505,600
	φ25	7	1,253,700	8	1,494,720	10	1,503,360
	φ40	7	4,914,000	9	6,743,520	10	7,434,720
	φ50	5	6,293,700	2	2,808,000	4	4,611,600
	φ75					1	3,888,000
	φ100						
	φ150						
	φ200						
	計	1,121	55,078,800	1,029	51,178,200	1,131	61,711,200

(2) 給水装置設置件数(年度別)

(単位:件)

			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新設	1棟1個	25mm以下	609	644	729	612	646
		40mm以上	13	6	11	15	16
		小計	622	650	740	627	662
	1棟2個	25mm以下	115	78	98	102	127
		40mm以上			1		4
		小計	115	78	99	102	131
計		737	728	839	729	793	
臨時		25mm以下	45	38	57	23	49
		40mm以上	3	4	2	5	4
		計	48	42	59	28	53
改造		25mm以下	63	59	53	73	65
		40mm以上	13	7	18	18	13
		計	76	66	71	91	78
合計		861	836	969	848	924	

※ 実績は給排水装置工事統計資料から

4 漏水件数

(1) 配水管漏水件数

① 管種別

(単位：件)

		H23	H24	H25	H26	H27	合計
S P		2	3	4	5	6	20
SUS							0
PSHP							0
CIP		1	2	2	2	1	8
DIP			1	1		2	4
DIP (耐震管)							0
V P			1			1	2
P P		2	4	1	5	2	14
仕切 弁等	鉄製管路	1	1		1	2	5
	非鉄製管路						0
計		6	12	8	13	14	53

② 口径別

(単位：件)

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
φ 50mm	2	4	1	5	2	14
φ 75mm			1		2	3
φ 100mm	3	5	3		3	14
φ 150mm			1	2	1	4
φ 200mm		2				2
φ 250mm						0
φ 300mm						0
φ 350mm						0
φ 400mm			2	4	3	9
φ 600mm		1		1	3	5
φ 800mm	1			1		2
計	6	12	8	13	14	53

(2) 給水管漏水件数 (公道内)

① 管種別

(単位：件)

		H23	H24	H25	H26	H27	合計
C P		4	11	9	6	3	33
V P							0
P P		4	8	6		7	25
G P							0
CIP							0
DIP							0
DIP (耐震管)							0
分水栓等その他		2	10	9	7	16	44
計		10	29	24	13	26	102

② 口径別

(単位：件)

	H23	H24	H25	H26	H27	合計
φ 13mm	7	13	10	9	16	55
φ 20mm	2	13	11	4	5	35
φ 25mm		1	1		1	3
φ 30mm		1			1	2
φ 40mm						0
φ 50mm	1	1	2		3	7
φ 75mm						0
φ 100mm						0
その他						0
計	10	29	24	13	26	102

5 給水管凍結件数（年度別）

		平成23年度	24	25	26	27
4月・11月	真冬日期間 日	0	0	0	0	0
	凍結件数 件	0	0	0	0	0
12月	最高気温 ℃	7.4	10.7	9.6	12.5	11.8
	最低気温 ℃	-11.8	-15.1	-9.5	-10.7	-8.8
	平均気温 ℃	-2.2	-2.8	0.7	-1.6	0.8
	真冬日期間 日	8	12	2	4	4
	凍結件数 件	78	484	3	66	38
1月	最高気温 ℃	3.4	2.5	5.6	7.5	6.2
	最低気温 ℃	-16.2	-16.3	-15.1	-11.7	-13.2
	平均気温 ℃	-5.7	-5.7	-4.3	-2.1	-3.6
	真冬日期間 日	19	17	17	8	13
	凍結件数 件	759	1,593	454	65	269
2月	最高気温 ℃	3.6	7.1	4.4	7.1	6.9
	最低気温 ℃	-14.7	-13.6	-14.3	-11.6	-13.5
	平均気温 ℃	-5.1	-4.1	-3.9	-1.2	-2.4
	真冬日期間 日	18	14	9	5	7
	凍結件数 件	317	27	383	89	125
3月	最高気温 ℃	10.0	9.4	13.3	12.4	15.5
	最低気温 ℃	-11.7	-9.2	-8.9	-5.4	-10.2
	平均気温 ℃	-0.5	-0.2	0.2	2.4	1.2
	真冬日期間 日	3	3	4	0	0
	凍結件数 件	4	3	14	0	1
合 計	真冬日期間 日	48	46	32	17	24
	凍結件数 件	1,158	2,107	854	220	433

6 水道メーター設置個数

(1) 器種別設置個数

器種	採用年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	割合
地下・円読式	S・27	85	84	84	83	82	81	0.08%
地下・直読式	S・35	3,054	3,011	2,999	2,978	2,875	2,778	2.78%
遠隔・電池式	S・43	25	25	25	33	33	33	0.03%
遠隔・発電式	S・51	5,174	5,083	4,968	4,790	4,654	4,563	4.57%
遠隔・電子式	H・5	58,018	58,349	58,690	58,966	59,304	59,608	59.66%
集中・発電式	S・57	785	783	783	783	779	776	0.78%
集中・電子式	H・13	29,148	29,705	30,132	30,891	31,437	32,077	32.10%
合計		96,289	97,040	97,681	98,524	99,164	99,916	100.00%

(2) 口径別設置個数

口径	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	割合
φ 13	84,846	85,660	86,294	87,241	88,043	88,914	88.99%
φ 20	8,461	8,400	8,401	8,307	8,170	8,051	8.06%
φ 25	1,733	1,727	1,738	1,728	1,712	1,716	1.72%
φ 40	693	697	693	690	687	691	0.69%
φ 50	366	368	368	370	368	361	0.36%
φ 75	112	111	111	108	105	106	0.11%
φ 100	57	56	55	55	54	52	0.05%
φ 150	16	16	16	18	18	18	0.02%
φ 200	5	5	5	7	7	7	0.01%
合計	96,289	97,040	97,681	98,524	99,164	99,916	100.00%

7 営業状況

(1) 給水件数

(単位:件、%)

区分 年度	23年度				24年度				25年度				26年度				27年度			
	用途	件数		伸び率	用途	件数		伸び率	用途	件数		伸び率	用途	件数		伸び率	用途	件数		伸び率
給水件数	家事用	75,254		100.8	家事用	75,569		100.4	家事用	76,040		100.6	家事用	76,471		100.6	家事用	76,689		100.3
	業務用	5,906		98.7	業務用	5,888		99.7	業務用	5,881		99.9	業務用	5,909		100.5	業務用	5,924		100.3
	その他	46		107.0	その他	39		84.8	その他	41		105.1	その他	38		92.7	その他	32		84.2
	計	81,206		100.7	計	81,496		100.4	計	81,962		100.6	計	82,418		100.6	計	82,645		100.3

(2) 調定状況

(単位:件、m³、千円、%)

(単位:件、m³、千円、%)

区分 年度	23年度				24年度				25年度				26年度				27年度				
	件数	水量	金額	構成比	件数	水量	金額	構成比	件数	水量	金額	構成比	件数	水量	金額	構成比	件数	水量	金額	構成比	
年間調定状況	488,238	16,425,745	2,730,100	100.0	491,263	16,477,372	2,726,210	100.0	493,175	16,250,395	2,697,073	100.0	496,157	16,183,492	2,753,133	100.0	498,812	16,094,895	2,752,241	100.0	
用途別	家事用	452,046	12,133,941	1,747,437	92.6	455,253	12,104,556	1,727,789	92.7	457,329	11,978,239	1,716,160	92.7	460,309	11,874,209	1,742,753	92.8	462,655	11,838,050	1,752,045	92.8
	業務用	35,872	4,198,089	968,462	7.3	35,688	4,287,093	989,555	7.3	35,544	4,195,688	970,850	7.2	35,583	4,234,080	999,310	7.2	35,871	4,188,284	990,534	7.2
	浴場用	60	68,940	3,609	0.0	56	74,900	3,906	0.0	46	61,920	3,241	0.0	43	56,418	2,985	0.0	42	53,775	2,869	0.0
	臨時用	260	24,775	10,592	0.1	266	10,823	4,960	0.0	256	14,548	6,822	0.1	222	18,785	8,085	0.0	244	14,786	6,793	0.1
口径別 (mm)	13	436,148	11,398,268	1,694,799	89.3	439,797	11,358,712	1,678,620	89.5	442,710	11,239,906	1,668,135	89.8	447,389	11,183,902	1,701,474	90.2	450,795	11,165,053	1,710,257	90.4
	20	39,770	1,154,617	206,406	8.1	39,157	1,128,762	195,317	8.0	38,206	1,092,969	190,016	7.7	36,736	1,055,302	188,873	7.4	36,208	1,041,569	186,962	7.3
	25	7,203	612,783	128,011	1.5	7,145	613,434	126,822	1.5	7,098	602,712	124,996	1.4	6,870	609,975	129,007	1.4	6,621	591,858	125,100	1.3
	40	2,928	1,101,948	235,251	0.6	2,992	1,123,343	238,786	0.6	2,984	1,091,101	233,624	0.6	3,002	1,067,296	234,339	0.6	3,026	1,038,088	230,246	0.6
	50	1,430	985,805	210,652	0.3	1,428	1,027,617	219,817	0.3	1,428	1,030,386	220,586	0.3	1,421	1,059,628	231,035	0.3	1,437	1,058,178	231,487	0.3
	75	457	399,254	86,123	0.1	443	431,735	93,556	0.1	449	406,020	88,101	0.1	441	431,458	95,708	0.1	433	448,507	100,130	0.1
	100	224	357,810	77,907	0.1	223	355,046	77,255	0.0	222	377,714	81,820	0.0	220	356,430	78,870	0.0	214	340,174	75,333	0.0
	150	66	379,026	82,773	0.0	66	404,962	88,389	0.0	66	385,295	84,175	0.0	66	392,228	87,416	0.0	66	384,388	86,392	0.0
200	12	36,234	8,178	0.0	12	33,761	7,648	0.0	12	24,292	5,620	0.0	12	27,273	6,411	0.0	12	27,080	6,334	0.0	
水量別 (m ³)	0~16	169,457	1,590,172	405,683	34.7	172,852	1,599,522	392,230	35.2	177,238	1,636,241	403,447	35.9	181,644	1,675,147	422,915	36.6	184,223	1,687,289	427,273	36.9
	17~40	224,472	6,113,497	824,243	46.0	225,171	6,124,689	822,668	45.8	226,106	6,133,410	823,559	45.8	227,711	6,170,569	845,505	45.9	229,050	6,205,585	855,393	45.9
	41~200	90,227	5,115,618	739,627	18.5	89,178	5,039,396	728,464	18.2	85,873	4,851,011	703,531	17.4	82,797	4,670,676	694,153	16.7	81,560	4,586,349	684,884	16.4
	201~	4,082	3,606,458	760,547	0.8	4,062	3,713,765	782,848	0.8	3,958	3,629,733	766,536	0.8	4,005	3,667,100	790,560	0.8	3,979	3,615,672	784,691	0.8
収納別	自主納付	139,656	-	873,380	28.6	142,662	-	876,430	29.0	143,893	-	858,740	29.2	145,861	-	887,367	29.4	147,655	-	870,442	29.6
	口座振替	348,582	-	1,856,720	71.4	348,601	-	1,849,780	71.0	349,282	-	1,838,333	70.8	350,296	-	1,865,766	70.6	351,157	-	1,881,799	70.4
	集金	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	0.0

(3) 収納状況

(単位:件、千円)

(単位:件、千円)

区分 年度	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
調定	488,238	2,730,100	491,263	2,726,210	493,175	2,697,073	496,157	2,753,133	498,812	2,752,241
収納	469,081	2,637,266	471,292	2,629,935	474,395	2,604,443	477,610	2,661,678	480,876	2,666,338
未収	19,157	92,834	19,971	96,275	18,780	92,630	18,547	91,455	17,936	85,903
収納率(%)	96.1	96.6	95.9	96.5	96.2	96.6	96.3	96.7	96.4	96.9

IV 水源と水質状況

- 1 水道水源と保全の取組
 - (1) 水道水源
 - (2) 取水河川の形成
 - (3) 水源保全の取組
- 2 水源及び浄水の水質
- 3 水道水質基準

1 水道水源と保全の取組

(1) 水道水源

苫小牧市は、北に活火山「樽前山」の山麓が広がり、南は太平洋に面し東西に長い市街地が形成されています。

現在の市街地は昭和の半ばまで大半が湿地帯であり、東にはラムサール条約登録湿地となっている「ウトナイ湖」など、西の山裾には錦大沼をはじめとし河川と湖沼群が点在する水の多い街です。

行政区域面積は約562平方キロメートルですが、約半分が森林で、樽前山麓の広大かつ豊かな樹海が広がっており、森林のうち6割が国有林、1割が北海道大学研究林、他は市有林と民有林で、私たち市民に貴重な自然と水を享受してくれています。

苫小牧市の水道は、こうした山麓で育まれた河川表流水を原水としており、創設時には「幌内川」、その後「勇払川」「錦多峰川」が加わり、現在では3河川から取水しています。

北海道大学の研究林内を貫流する「幌内川」と、国有林内を貫流する「勇払川」は「高丘浄水場（緩速ろ過池）」へ、同じく国有林内を貫流する「錦多峰川」は「錦多峰浄水場（急速ろ過池）」へとそれぞれ導水されています。

この3河川は、いずれも安定した水量を保つとともに、年間を通して濁度は平均1度以下であり、市の河川環境調査においても常にトップクラスとなっています。また、当時の環境庁による全国河川水質調査においても、幌内川や錦多峰川を含む市内の河川は、全国的にも1位、2位のランクに入るなど、水質のすばらしさを誇っています。

これら河川の源流は、樽前山麓の中腹に源を持ち、本流や支流、さらに附近から湧水する流れが集合して清流を成しています。湧水は、山麓に降った雨や雪解け水が、樽前山の過去幾度かの噴火によって堆積した6メートル以上もの火山礫層に深く浸透し、自然ろ過されながら長い年月を経て地下を移動し、随所から湧き出ているものです。

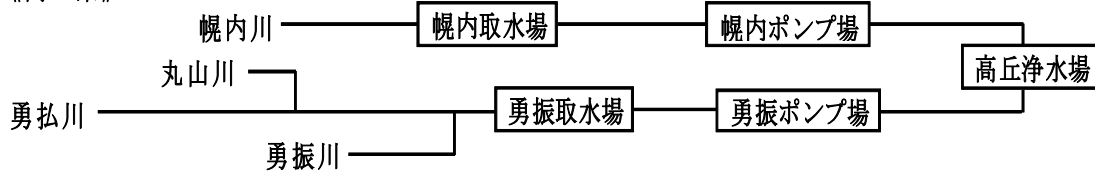
圧密された多孔質の火山礫層と、そこに根を降ろした樹木や草類が適度な木漏れ日を持つ環境を作り出していることから、この山麓一帯は、十分な「保水能力」と「ろ過機能」を併せ持っています。ここで育まれた水は冷たく、おいしさの条件の一つである「ミネラル分（カルシウム、マグネシウム）」を適度に含みながら生まれています。こうした安定した水量と水質の良さを誇る本市の水源河川は、これらの森林が「水源かん養保安林」として位置づけられ、保全されていることから、創設時から今もさほど変わらぬ状況を保っています。

また、本市では表流水を原水とするほか、非常用水源として2カ所の地下水取水場を有しています。いずれの取水場も幌内川に隣接する浅層の伏流水で、水質、水量とも安定しております。

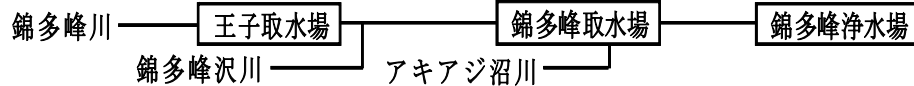
昭和60年、厚生省の「おいしい水研究会」（専門家、知識人、女優など10名）は、全国10万人以上の198都市の中から、水道水のおいしい都市として32都市を選んでいました。そのうち、北海道では苫小牧市と帯広市の2都市がそのお墨付きをいただき、内外ともに、良質で、おいしさの認められた本市の水道水は、まさに自然の恩恵によるもので、未来永劫に渡って残していかなければなりません。

(2) 取水河川の形成(取水場上流)

《高丘系》



《錦多峰系》



(3) 水源保全の取組

ア 「苦小牧市水道水源の保護に関する指導要綱」の施行

苦小牧市では安全でおいしい水を提供するため水源のパトロールや河川流域の清掃など定期的に行っていますが、国有林や民有林でのゴミの不法投棄が後を絶たない中、平成8年8月、錦多峰浄水場において、本市では過去に例のない水道水異臭事故が発生しました。

本市では、この事故を契機に水源の保護保全についての施策の一つとして「苦小牧市水道水源の保護に関する指導要綱」を平成9年4月に施行しました。

この要綱は、事故の起きた取水場上流における民有地の一部、錦多峰川流域約226haを特に「水源保護地域」として指定し、その地域における河川排水基準を設定したものです。この地域においては、河川への直接排水はもちろんのこと、浸透枘などによる地下水を通じた流出の影響が考えられる事業場や工場などの立地や行為に対して、事前協議を交わした上で事業主に対し水源保全の協力を要請し、互いに水源の保全に寄与することを目的として策定された「排水規制型」の要綱です。

このほか、上下水道部を中心に官民の関係機関で構成された「水を汚染から守る会の連絡協議会」を通じて、毎年水源地域の清掃活動も実施しています。

今後も水源保全に関する啓蒙、啓発活動を行うと共に、水源地域のパトロール強化に継続的に努めます。

イ 水源保全林の購入

前述した要綱において、国有林及び北大研究林については、一定の保護・保全が図られていることから保護地域の指定から除外しています。

しかし、近年、国有林の管理事業も民間活力の活用による「法人の森林(もり)」制度などの導入により、部分的とはいえ管理形態の変化が見受けられます。

こうした状況の中、水源を含む森林の保護・保全に関しては大部分を国に依存しているものの、水道事業としても独自の取組が必要となってきています。

そこで、本市では、平成11年3月に取水河川である勇弘川支流(丸山川)に隣接する丸山地区(丸山小学校跡地北西)の国有林の一部、約4.2ha(苗畑跡地)を国から買受し、「丸山水源の森」として位置付け、水源の保全を図るとともに、市民参加の植樹会などにより計画的に整備を進め、水源保護の重要性について理解を深めるよう努めています。

2 水源及び浄水の水質

基準項目

平成27年度 年間平均値

試験項目	単位	表流水			非常用		浄水	
		勇 払 川	幌 内 川	錦 多 峰 川	高丘地下水	幌内地下水	高丘浄水場	錦多峰浄水場
1 一般細菌	ヶ/mL	61	44	90	1	3	0	0
2 大腸菌	—	12/12	10/12	11/12	1/12	4/12	0 / 102	0 / 138
3 カドミウム及びその化合物	mg/L	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
4 水銀及びその化合物	mg/L	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005
5 セレン及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
6 鉛及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
7 ヒ素及びその化合物	mg/L	0.003	0.003	0.002	0.001	0.002	0.003	< 0.001
8 六価クロム化合物	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
9 亜硝酸態窒素	mg/L	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.51	0.59	0.43	0.54	0.52	0.52	0.45
12 フッ素及びその化合物	mg/L	< 0.05	< 0.05	0.09	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.08
13 ホウ素及びその化合物	mg/L	0.02	0.02	0.39	0.02	0.02	0.02	0.36
14 四塩化炭素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
15 1, 4-ジジオキサン	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
16 シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
17 ジクロロメタン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
18 テトラクロロエチレン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
19 トリクロロエチレン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
20 ベンゼン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
21 塩素酸	mg/L						< 0.06	< 0.06
22 クロロ酢酸	mg/L						< 0.002	< 0.002
23 クロロホルム	mg/L						0.002	< 0.001
24 ジクロロ酢酸	mg/L						< 0.002	< 0.002
25 ジブロモクロロメタン	mg/L						< 0.001	0.003
26 臭素酸	mg/L						< 0.001	< 0.001
27 総トリハロメタン	mg/L						0.003	0.004
28 トリクロロ酢酸	mg/L						< 0.002	< 0.002
29 ブロモジクロロメタン	mg/L						0.002	0.001
30 ブロモホルム	mg/L						< 0.001	< 0.001
31 ホルムアルデヒド	mg/L						< 0.008	< 0.008
32 亜鉛及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
33 アルミニウム及びその化合物	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.05
34 鉄及びその化合物	mg/L	0.03	< 0.01	0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
35 銅及びその化合物	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.001	< 0.001	< 0.001
36 ナトリウム及びその化合物	mg/L	6.6	7.1	21.6	7.8	7.6	7.2	22.7
37 マンガン及びその化合物	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
38 塩化物イオン	mg/L	5.4	5.8	19.5	6.9	6.5	5.7	22.7
39 カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	26	22	77	23	22	25	76
40 蒸発残留物	mg/L	106	95	192	93	91	96	184
41 陰イオン界面活性剤	mg/L	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
42 ジェオスミン	mg/L	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001
43 2-メチルイソボルネオール	mg/L	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001
44 非イオン界面活性剤	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
45 フェノール類	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
46 有機物（全有機炭素（TOC）の量）	mg/L	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3
47 pH値	—	7.3	7.3	7.7	6.8	6.8	7.4	7.3
48 味	—						異常なし	異常なし
49 臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
50 色度	度	1	0	1	< 1	< 1	< 1	< 1
51 濁度	度	0.6	0.4	0.6	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1

衛生上の措置	単位	表流水			非常用		浄水	
		勇 払 川	幌 内 川	錦 多 峰 川	高丘地下水	幌内地下水	高丘浄水場	錦多峰浄水場
残留塩素	mg/L						0.5	0.5

備考1：不等号（<）は定量下限値以下

備考2：大腸菌は、検出回数/検査回数

3 水道水質基準

基準項目	基準値
1 一般細菌	1mLの検水で形成される集落数が100以下であること。
2 大腸菌	検出されないこと。
3 カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.003mg/L以下であること。
4 水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/L以下であること。
5 セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/L以下であること。
6 鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/L以下であること。
7 ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/L以下であること。
8 六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.05mg/L以下であること。
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下であること。
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/L以下であること。
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下であること。
12 フッ素及びその化合物	フッ素の量に関して、0.8mg/L以下であること。
13 ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、1.0mg/L以下であること。
14 四塩化炭素	0.002mg/L以下であること。
15 1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下であること。
16 シス-1, 2-ジクロロエチレン 及び トランス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下であること。
17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下であること。
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下であること。
19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下であること。
20 ベンゼン	0.01mg/L以下であること。
21 塩素酸	0.6mg/L以下であること。
22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下であること。
23 クロロホルム	0.06mg/L以下であること。
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下であること。
25 ジブromクロロメタン	0.1mg/L以下であること。
26 臭素酸	0.01mg/L以下であること。
27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下であること。
28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下であること。
29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下であること。
30 ブロモホルム	0.09mg/L以下であること。
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下であること。
32 亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/L以下であること。
33 アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/L以下であること。
34 鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/L以下であること。
35 銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/L以下であること。
36 ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/L以下であること。
37 マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/L以下であること。
38 塩化物イオン	200mg/L以下であること。
39 カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下であること。
40 蒸発残留物	500mg/L以下であること。
41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下であること。
42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下であること。
43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下であること。
44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下であること。
45 フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/L以下であること。
46 有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/L以下であること。
47 pH値	5.8以上8.6以下であること。
48 味	異常でないこと。
49 臭気	異常でないこと。
50 色度	5度以下であること。
51 濁度	2度以下であること。

衛生上必要な措置	規 則
残 留 塩 素	給水栓における水が、遊離残留塩素を0.1mg/L(結合残留塩素の場合は、0.4mg/L)以上保持するように塩素消毒すること。

V 財務状況

- 1 予算（平成 28 年度）
 - (1) 収益的収支
 - (2) 資本的収支
- 2 決算状況
 - (1) 損益計算書
 - (2) 貸借対照表
 - (3) 資本的収支
- 3 給水原価及び供給単価

1 予 算 (平成28年度)

(1) 収益的収支

科 目	金 額	構 成 比 率
	千円	%
《収入》	3,141,921	100.00
営業収益	2,944,617	93.72
給水収益	2,742,263	87.28
受託工事収益	23,496	0.75
下水道業務負担金	142,655	4.54
その他営業収益	36,203	1.15
営業外収益	197,304	6.28
受取利息及び配当金	342	0.01
水道利用加入金	53,010	1.69
長期前受金戻入	133,330	4.24
雑収益	10,622	0.34
《支出》	2,744,105	100.00
営業費用	2,405,605	87.66
原水費	87,812	3.20
浄水費	217,295	7.92
配水及び給水費	210,801	7.68
受託工事費	25,098	0.91
業務費	122,751	4.47
総係費	30,081	1.10
給与費	570,087	20.77
減価償却費	1,118,210	40.75
資産減耗費	23,470	0.86
営業外費用	338,000	12.32
支払利息及び企業債取扱諸費	277,586	10.12
消費税及び地方消費税	58,557	2.13
雑支出	1,857	0.07
予備費	500	0.02
予備費	500	0.02

(2) 資本的収支

科 目	金 額	構 成 比 率
	千円	%
《収入》	1,372,900	100.00
企業債	1,160,400	84.52
施設整備事業債	1,160,400	84.52
国庫補助金	212,500	15.48
国庫補助金	212,500	15.48
《支出》	2,598,554	100.00
建設改良費	1,816,301	69.90
新設工事費	104,500	4.02
改良工事費	1,265,650	48.71
量水器施設費	348,463	13.41
事業管理費	10,674	0.41
給与費	85,831	3.30
固定資産取得費	1,183	0.05
企業債償還金	781,753	30.08
企業債償還金	781,753	30.08
予備費	500	0.02
予備費	500	0.02

2 決算状況

(1) 損益計算書

科 目	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	構成比率
	千円	%	千円	%	千円	%
収入	2,799,004	100.00	2,833,578	100.00	2,940,462	100.00
営業収益	2,755,114	98.43	2,766,838	97.64	2,730,963	92.88
給水収益	2,596,483	92.76	2,568,734	90.65	2,567,146	87.30
受託工事収益	11,815	0.41	11,220	0.39	8,440	0.29
下水道業務負担金	116,854	4.17	142,213	5.02	118,381	4.03
その他営業収益	29,962	1.07	44,671	1.58	36,996	1.26
営業外収益	43,890	1.57	66,740	2.36	188,296	6.40
受取利息及び配当金	704	0.03	153	0.01	248	0.01
水道利用加入金	40,896	1.46	52,456	1.85	47,448	1.61
雑収益	2,290	0.08	14,131	0.50	9,274	0.32
長期前受金戻入	0	0.00	0	0.00	131,326	4.47
特別利益	0	0.00	0	0.00	21,203	0.72
支出	2,498,950	100.00	2,409,506	100.00	3,325,265	100.00
営業費用	2,143,038	85.76	2,107,179	87.45	2,279,154	68.54
原水費	67,549	2.70	84,900	3.52	69,082	2.08
浄水費	177,833	7.12	158,744	6.59	189,585	5.70
配水及び給水費	134,114	5.37	142,152	5.90	160,451	4.83
受託工事費	11,324	0.45	17,190	0.71	7,869	0.24
業務費	81,489	3.26	97,391	4.04	100,397	3.02
総係費	26,083	1.04	32,806	1.36	27,750	0.83
給与費	669,714	26.80	620,348	25.75	608,313	18.29
減価償却費	921,392	36.87	934,222	38.77	1,078,405	32.43
資産減耗費	53,540	2.14	19,426	0.81	37,302	1.12
営業外費用	347,695	13.91	295,010	12.24	295,036	8.87
支払利息及び企業債取扱諸費	330,917	13.24	282,999	11.75	281,746	8.47
雑支出	1,469	0.06	10,064	0.42	3,226	0.10
繰延勘定償却	15,309	0.61	1,947	0.08	10,064	0.30
特別損失	8,217	0.32	7,317	0.30	751,075	22.59
当年度純利益 (△当年度純損失)	300,054		424,072		△ 384,803	

(2) 貸借対照表

資産の部

科 目	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	構成比率
	千円	%	千円	%	千円	%
固定資産	26,059,431	94.58	26,704,274	94.12	24,224,381	93.36
有形固定資産	26,058,969	94.58	26,701,632	94.12	24,199,180	93.27
土地	538,222	1.95	538,222	1.90	553,813	2.13
建物	1,355,803	4.92	1,317,693	4.64	1,212,412	4.67
構築物	21,590,859	78.36	22,371,953	78.85	19,976,539	76.99
機械及び装置	1,186,978	4.31	1,171,197	4.13	1,176,799	4.54
量水器	1,200,971	4.36	1,219,582	4.30	1,238,044	4.77
車両及び運搬具	14,627	0.05	10,280	0.04	6,929	0.03
工具器具及び備品	7,856	0.03	6,737	0.02	6,165	0.02
建物仮勘定	163,653	0.59	65,968	0.23	28,479	0.11
無形固定資産	462	0.00	2,642	0.01	25,201	0.10
電話加入権	462	0.00	462	0.00	463	0.00
ソフトウェア		0.00	2,180	0.01	24,738	0.10
流動資産	1,464,301	5.31	1,579,043	5.56	1,712,910	6.60
現金預金	935,097	3.39	915,479	3.23	479,100	1.85
未収金	201,618	0.73	131,185	0.46	243,870	0.94
貸倒引当金	-	-	-	-	-21,672	-0.08
貯蔵品	16,286	0.06	12,379	0.04	11,612	0.04
短期貸付金	300,000	1.09	520,000	1.83	1,000,000	3.85
前払金	11,300	0.04	0	0.00	0	0.00
繰延勘定	30,194	0.11	88,138	0.31	10,065	0.04
調査費	30,194	0.11	88,138	0.31	10,065	0.04
資産合計	27,553,926	100.00	28,371,455	100.00	25,947,356	100.00

負債・資本の部

科 目	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	構成比率
	千円	%	千円	%	千円	%
負債	109,332	0.39	118,508	0.41	18,527,522	71.40
固定負債	20,000	0.07	20,000	0.07	14,532,794	56.01
企業債	-	-	-	-	13,949,172	53.76
引当金	20,000	0.07	20,000	0.07	583,622	2.25
流動負債	89,332	0.32	98,508	0.35	947,470	3.65
企業債	-	-	-	-	822,980	3.17
未払金	82,144	0.30	92,580	0.33	76,805	0.29
前受金	1,403	0.01	1,187	0.00	1,321	0.01
預り金	3,108	0.01	2,859	0.01	2,883	0.01
引当金	-	-	-	-	41,601	0.16
その他流動負債	2,677	0.89	1,882	0.44	1,880	0.01
繰延収益	-	-	-	-	3,047,258	11.74
長期前受金	-	-	-	-	6,259,770	24.12
長期前受金収益化累計額	-	-	-	-	△ 3,212,512	△ 12.38
資本	27,444,594	99.61	28,252,947	99.59	7,419,834	28.60
資本金	21,217,021	77.01	21,803,846	76.86	7,364,972	28.38
自己資本金	7,064,919	25.64	7,364,972	25.96	7,364,972	28.38
借入資本金	14,152,102	51.36	14,438,874	50.89	-	-
企業債	14,152,102	51.36	14,438,874	50.89	-	-
剰余金	6,227,573	22.60	6,449,101	22.73	54,862	0.21
資本剰余金	5,927,519	21.51	6,025,029	21.24	15,593	0.06
受贈財産評価額	2,159,003	7.84	2,165,470	7.63	15,593	0.06
国庫補助金	303,792	1.10	394,155	1.39	-	-
道補助金	223,116	0.81	223,096	0.79	-	-
工事負担金	3,241,608	11.77	3,242,308	11.43	-	-
利益剰余金	300,054	1.09	424,072	1.49	39,269	0.15
減債積立金	0	0.00	0	0.00	424,072	1.63
当年度未処分利益剰余金	300,054	1.09	424,072	1.49	△ 384,803	△ 1.48
負債・資本合計	27,553,926	100.00	28,371,455	100.00	25,947,356	100.00

(3) 資本的収支

科 目	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率
	千円	%	千円	%	千円	%
《収入》	1,486,267	100.00	1,083,811	100.00	1,232,881	100.00
企業債	1,333,600	89.73	986,700	91.04	1,084,300	87.95
企業債	1,333,600	89.73	986,700	91.04	1,084,300	87.95
工事負担金	9,019	0.61	2,621	0.25	0	0.00
工事負担金	9,019	0.61	2,621	0.25	0	0.00
国庫補助金	79,748	5.37	94,156	8.68	148,061	12.00
国庫補助金	79,748	5.37	94,156	8.68	148,061	12.00
固定資産売却代金	0	0.00	334	0.03	520	0.04
固定資産売却代金	0	0.00	334	0.03	520	0.04
他会計出資金	63,900	4.30	0	0.00	0	0.00
他会計出資金	63,900	4.30	0	0.00	0	0.00
《支出》	3,046,469	100.00	2,444,022	100.00	2,470,149	100.00
建設改良費	1,636,195	53.71	1,740,302	71.21	1,714,782	69.42
新設工事費	546,189	17.93	292,234	11.96	110,370	4.47
改良工事費	724,377	23.78	1,087,328	44.49	1,212,198	49.07
量水器施設費	250,369	8.22	262,777	10.75	281,838	11.41
固定資産取得費	12,529	0.41	5,412	0.22	26,037	1.05
事業管理費	102,731	3.37	11,453	0.47	11,286	0.46
給与費		0.00	81,098	3.32	73,053	2.96
企業債償還金	1,408,584	46.24	699,929	28.64	751,022	30.40
企業債償還金	1,408,584	46.24	699,929	28.64	751,022	30.40
国庫補助金返納金	1,690	0.06	3,791	0.16	4,345	0.18
国庫補助金返納金	1,690	0.06	3,791	0.16	4,345	0.18

3 給水原価

科 目		平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度		
		金 額	金 額	金 額		
勘定科目別原価	営業費用	原水費	67,549	84,900	69,082	
		浄水費	177,833	158,744	189,584	
		配水及び給水費	134,114	142,152	160,451	
		業務費	81,489	97,391	100,397	
		総係費	26,083	32,806	27,750	
		給与費	669,714	620,348	608,313	
		減価償却費	921,392	934,222	1,078,405	
		資産減耗費	53,540	19,426	37,303	
		小 計	2,131,714	2,089,989	2,271,285	
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	330,917	282,999	281,746	
		繰延勘定償却	15,309	10,064	10,064	
		雑支出	1,469	1,947	3,226	
		小 計	347,695	295,010	295,036	
	合 計		2,479,409	2,384,999	2,566,321	
	支出要素別原価	職員給与費	給料	276,702	263,152	290,747
			諸手当	187,113	185,075	129,464
法定福利費			98,317	93,111	90,822	
退職給与金			107,582	79,010	-	
引当金			-	-	97,275	
小 計			669,714	620,348	608,308	
支払利息		330,917	282,999	281,746		
減価償却費		921,392	934,222	1,078,405		
動力費		66,819	72,782	81,896		
修繕費		150,702	136,901	148,059		
材料費		6,077	6,639	8,746		
薬品費		17,720	18,787	19,364		
路面復旧費		5,185	6,790	8,163		
その他		310,883	305,530	338,867		
合 計		2,479,409	2,384,998	2,573,554		
長期前受金戻入		-	-	131,326		
給水収益		2,596,483	2,568,734	2,567,146		
有収水量 (m ³)		16,477,372	16,250,395	16,183,492		
給水原価		150.47	146.77	150.91		

苫小牧市上下水道部の連絡先

		ダイヤルイン	内線番号の内訳		
総務課	部次長 課長 総務係 財務係 財務係	3 2 - 6 6 8 9	2344		
		3 2 - 6 6 2 7	2352		
		3 2 - 6 6 2 8	2355	2356	2395
		3 2 - 6 6 9 2	2397		
		3 2 - 6 6 9 0	2354	2357	2396
営業課	課長 副主幹 収納係 収納係 料金係 料金係	3 2 - 6 6 3 4	2370		
			4371		
		3 2 - 6 6 4 7	2378	2379	4378
		3 2 - 6 6 7 4	2377	4377	4379
		3 2 - 6 6 7 9	2373	2374	2375
		3 2 - 6 6 8 5	2372	2376	4373
水道整備課	課長 計画係 工事係	3 2 - 6 5 8 3	2389		
		3 2 - 6 5 8 7	2390	2392	
		3 2 - 6 5 8 9	2364	2391	4353
水道管理課	課長 給水係 給水係 配水管理係	3 2 - 6 6 9 3	2381		
		3 2 - 6 6 9 5	2382	2383	
		3 2 - 6 6 9 6	2384		
		3 2 - 6 7 0 1	2385	2386	2387
下水道計画課	課長 計画係 計画係 管理係 管理係	3 2 - 6 5 9 0	2358		
		3 2 - 6 5 9 2	2359	4358	4359
		3 2 - 6 6 0 0	2360	4360	
		3 2 - 6 6 0 4	2362		
		3 2 - 6 6 0 7	2363	4362	
下水道建設課	課長 課長補佐 建設第1係 建設第2係	3 2 - 6 6 1 7	2365		
		3 2 - 6 6 1 9	2368		
		3 2 - 6 6 1 8	2366	2367	
		3 2 - 6 6 1 9	2368	2369	

苫小牧市高丘浄水場

〒053-0035 TEL 3 2 - 2 6 5 2
 苫小牧市字高丘 1 0 1 番地の 1 FAX 3 6 - 3 1 9 4

苫小牧市錦多峰浄水場

〒059-1275 TEL 6 7 - 1 1 5 3
 苫小牧市字錦岡 3 3 0 番地 FAX 6 7 - 1 1 5 4

苫小牧市西町下水処理センター

〒053-0804 TEL 7 3 - 7 5 2 8
 苫小牧市元町 3 丁目 5 番 3 号 FAX 7 2 - 2 4 1 7

苫小牧市高砂下水処理センター

〒053-0013 TEL 3 2 - 7 0 8 1
 苫小牧市高砂町 1 丁目 4 番 2 2 号 FAX 3 3 - 9 0 9 7

苫小牧市勇払下水処理センター

〒059-1372 TEL 5 6 - 0 3 9 5
 苫小牧市字勇払 1 6 6 番地の 2 FAX 5 6 - 1 0 0 3



編集・発行 苫小牧市上下水道部

〒053-8722

苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6111

FAX 0144-37-1661

HP <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>